名前	実父 実母	続柄	順	姓名	字・幼名・号他	役職・家業	給禄	藩主	享年	生年月日 没年月日	屋敷・居住地	墓地 備考	出典
内藤家断			断絶	内藤 市左衛門	右門		50	1					[註4]
内藤家			①	内藤 多助			4.36(明治5年)	9		(明治5年25歳 分限帳)	徳山村今宿		
内藤家			①	内藤 己之助	美之助			8~9		(明治5年64歳 分限帳)			
	内藤己之助	嗣子	②	内藤 岩吉	岩蔵	政務局支配	3.35(明治5年)	9		(明治5年29歳 分限帳)	徳山村今宿		
	内藤己之助	嫡子	—	内藤 五市	五郎市			9		(明治5年15歳 分限帳)			
永井家断			断絶	永井 九郎兵衛			25	1					[註4]
永井家			①	永井 百助			25	9		(明治4年3歳 分限帳)			
永井家			○	永井 久子				—				大成寺共同墓地(R1) 山口県士族/永井英三墓碑あり	
長井家	粟屋精/宰人		○	長井 正綽 ☆	小次郎			9					[註4]
長岡家			○	長岡 南陽	弥九郎	萩藩寄組		宗藩					[註10]
	小方(温品)謙九郎 堀三右衛門女トキ	＊堀二男	○	長岡 外史	忠蔵 昱輔源護朝 元徳公より外史 (明治13年長岡家家督)→小方家	陸軍中将/衆議院議員	正三位勲一等	—	76	1858 安政5年5月13日 1933 昭和8年4月21日	末武北村・東京 笠戸島国民宿舎大城に外史公園	青山墓地	[註10][註11]
	長岡外史 清水久助妹芳子	長男	○	長岡 護一		慶応義塾大学卒 千代田組取締役		—		1892 明治25年2月	東京		[註10]
	長岡外史	二男	—	長岡 護郎	徳島陸軍中将坂部十寸穂養子 (妻美佐子・長男隆)	陸士卒	従七位	—		1897 明治30年	東京		[註10]
	長岡外史	三男	—	長岡 護				—		1907 明治40年	東京		[註10]
	長岡護一 京都塩見清右衛門妹かね	長男	○	長岡 忠一	弟孝 妹由美子中部慶次郎に嫁ぐ	三井銀行/谷川製作所		—		1926 大正15年 2013 平成25年	東京 『スキーの原点を探る』著		[Web. 閨閥学]
	長岡忠一 川辺重春長女寿美子	長男	○	長岡 由木彦	(妻岩出晴夫長女真里)	日本ビクター・ミスミグループ		—		1961 昭和36年1月30日	東京		[Web. 閨閥学]
中川家	中川左衛門頼重		○	中川 重宗				—					[譜]
			○	中川 重親				—					[譜]
			○	中川 重信	与十郎			—			奉公以前京都中川村居住		[譜]
	中川重信 某女	四男	①	中川 重正	吉左衛門 重政 毛利就隆夫人(再室)の父		現300	1	72	1676 延宝4年9月11日	馬場東町自西2～4番 寛文年中出仕/重正死後隆重同年家督		[譜][註1]
	伊奈兵右衛門(関東郡代 某女	＊四男	②	中川 隆重	舎人 半之助 外記 吉左衛門 縫殿 主殿 稲津十郎左衛門 ＊寿松軒地久常蔵居士	一代用人	二十扶持	1~5		1730 享保15年5月11日	浪人久米村/本町東側自北1番 父伊奈兵右衛門咎め遠島断絶(元禄11年)享保5年再興	＊徳山・福田寺	[譜][註8] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	中川隆重 桂民部隆忠女	長男	③	中川 豊方	轉 (五代広豊一字賜)	一代用人	150	5	68	1752 宝暦2年正月4日	本町西側自北3番 享保12年家督/寛延元年正月27日隠居		[譜]
	中川隆重 桂民部隆忠女	三男	—	中川 忠成	→坂田忠成	馬廻	50	5~7	73	1765 明和2年正月20日	東中町下横町北側自西1番 享保7年坂田源太夫忠直養子		[譜]
	中川豊方 児玉次郎左衛門忠頼女	長男	④	中川 忠英	清太夫 政重 重英 尉之進 半左衛門 傳	馬廻	150	5~7			馬場本町自西5番 寛延元年家督/天明元年正月25日隠居	徳山・無量寺(R1)	[譜]
	中川豊方 児玉次郎左衛門忠頼女	二男	—	中川 忠久	市郎左衛門 萬槌 半弥			5			宝暦5年永暇願		[譜]
	中川豊方 児玉次郎左衛門忠頼女	三男	—	中川 為経	右源次 友之進			5			宝暦7年萩家来周布勘解由子分		[譜]
	中川忠英 杉山吉郎左衛門豊房女	長男	—	中川 重政	吉左衛門 府之進 長十郎			7頃					[譜]
	中川忠英 杉山吉郎左衛門豊房女	五男	⑤	中川 政信	正左衛門 栄五郎	馬廻	150	7~8	61	1822 文政5年11月7日	天明元年家督/文化8年隠居	徳山・無量寺(R2)	[譜]
	中川政信 岩崎四郎貞方妹	長男	—	中川 勝之丞				8		1819 文政2年9月22日			[譜]
	中川政信 岩崎四郎貞方妹	嫡男	—	中川 権六郎	→羽仁俊保	馬廻/中島流砲術師範 西洋流砲術世話方	50	9		1866 慶応2年8月23日	三番丁 弘化2年羽仁貞章家督/碑文飯田俊書林英作	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註5][註8][註14] [註16](嘉永2年譜録提出)
	佐藤忠清 萩領合田吉左衛門女	＊四男	⑥	中川 篤俊	邦達 半平 修次 実兵衛 修 求馬 蘇仙(嘉永元年) 元蕃(広篤)一字賜	一代用人 中島流砲術取立方	150	8~9	72	1786 年令~逆算 1857 安政4年9月1日	文化8年家督/弘化3年隠居/鉄砲鍛冶国友一貫斎交流	徳山・福田寺 [註8]	[譜][註1][註4][註5][註8]
	中川篤俊 五代政信女	長男	⑦	中川 頼信	修人 直之助	馬廻/町奉行(元治元年)	150	9		(明治3年以前)	桜馬場 弘化3年家督/弘化4年萩藩松村女結婚/殉難七士調役		[譜][註4][註8]
		嗣子	⑧	中川 義人	中川蘇仙跡(義人記す) (蘇仙後宝・故脩人妻同女同居M3)	中士下等(渡邉勘蔵座)	25→7.1	9		(中川義人明治4年28歳 分限帳)	明治3年11月20日家督[御家来分限帳明治2年]		[註4] [明治4年蘇仙跡義人譜録下書]
	某女	嗣子	①	中川 重親	久右衛門	馬廻	85	2~3		1703 元禄16年8月2日	奉公以前長府 貞享頃出仕/元禄15年隠居		[譜]

中川家	重月某 清水杢左衛門忠信女	＊	②	中川 重長	久右衛門 小左衛門 重月弁右衛門尭智弟	馬廻	85	3		1713	正徳3年10月17日	＊徳山・無量寺/然誉貞性信士 元禄15年家督/母松平越後守家来清水杢左衛門忠信女		[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
			?	中川 清兵衛[註4]	(文太・漣・兎道衛先祖[註4])	馬廻(宝永4年)		3						[註4御家来分限帳]
	中川重長	長男	一	中川 某	重月弁右衛門尭智養子			4~				享保4年重月弁右衛門尭智養子		
	重月某 清水杢左衛門忠信女	＊	③	中川 重道	勘治 雲八 重月弁右衛門尭智弟	中小姓	25	3~5		1738	元文3年10月4日	馬場町北側1番南向 正徳4年家督/某年隠居		[譜]
	中川重道 山田庄左衛門勝重妹	長男	一	中川 明親	祐碩	新知別家		5~				寛保元年新知別家出仕		[譜]
	中村直次 奈古屋忠助宅栄妹	＊	④	中川 糺美	紋右衛門 大吉 中村小文治直角弟			5~7	56	1771	明和8年7月26日	元文元年養子/某年家督		[譜]
	中川糺美 中川重道女	長男	⑤	中川 糺忠	宇左衛門	馬廻	75	7		1784	天明4年8月11日	明和8年家督/安永元年12月18日隠居		[譜]
	安田七兵衛保郷 宍戸亘寛政女	＊二男	⑥	中川 惟孝	隆美	馬廻	70	7				安永元年家督同6年正月23日病気に付押隠居		[譜]
	中川祐碩明親 勝屋甚右衛門政直妹	＊	⑦	中川 敬篤	祐緑 岱助	中小姓/医師	25	7				西新丁西側自北5番 安永6年家督/天明5年末家友仙直忠御咎により減石押隠居		[譜]
	河田政勝 生野屋村赤穴三立生信女	＊三男	⑧	中川 政範	竹右衛門 弥平治 文太 (母は医師の娘)	中小姓	25	7~8	80	1829	文政12年6月24日	徳山・無量寺(R2) 天明8年12月家督/文化11年12月20日隠居		[譜]
	梅地相欽 河内村清木七左衛門女	＊二男	⑨	中川 重清	新平 梅地惣右衛門相敬弟	中小姓	25	8				文化11年養子家督/文政5年隠居同6年実家へ		[譜]
	渡邊範由 渡邊栄助範定妹	＊三男	⑩	中川 宜安	助次郎	中小姓	25	8	19	1824	文政7年7月3日	文政5年養子家督		[譜]
	浅井平兵衛茂昌 大道理能美作右衛門女	＊二男	⑪	中川 頼保	頼親 文太 重充 平蔵 漣	組外馬廻	50	8~9				徳山村新丁 文政9年家督		[譜][註4]
	中川頼保 山田村藤井弥吉女	長男	⑫	中川 頼愛 ☆	兎道衛	中士下等	25→10.2(M5)	9		(明治4年22歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
中川家			○	中川 直忠	友仙 (中川敬篤末家)			7頃				天明5年10月10日御咎め		[譜]
中川家			○	中川 作太郎			1.8	9				徳山村幸町居住		[註4]
中川家断			断絶	中川 新右衛門			50	1						[註4]
仲子家			○	仲子 七郎太夫		大向二俣大明神大宮司		大内				大向村 長享3年遷宮時、大檀那多々良朝臣弘武公建立		[防長寺社由来]
			○	仲子 勘太夫	鼓頭勘太夫(天正17年)	大向二俣大明神神主		毛利				大向村 天正19年二俣神社本記写/慶長3年毛利輝元卿上棟一宇		[防長寺社由来]
			○	仲子 与次太夫		大向二俣大明神神主		毛利				大向村 慶長18年上棟一宇		[防長寺社由来]
			○	仲子 勘太夫	鼓頭勘太夫(慶安2年)	大向鼓頭		1				大向村 慶安2年文書		[防長寺社由来]
			○	仲子 左近太夫	藤原政盛	大向二俣大明神神主		1~2				大向村 寛文4年文書/元禄元年毛利元賢公鳥居一基		[防長寺社由来]
			○	仲子 左近	藤原政吉	大向二俣大明神祠官		3				大向村 元禄13年毛利元次公上棟		[防長寺社由来]
			○	仲子 民部	藤原正盛	大向二俣大明神祠官		3				大向村 元禄13年毛利元次公上棟		[防長寺社由来]
			○	仲子 将監		大向二俣大明神神主		5				大向村 元文5年文書		[防長寺社由来]
			○	仲子 勝馬		神官/寺小屋(習字)		9				大向村 嘉永元年私塾開設男25女5		[註1][註5][註14] [徳山市教育の歩み]
			○	仲子 言智		神官/寺小屋(習字)		9				大向村 嘉永元年私塾開設男25女55		[註1][註5][註14] [徳山市教育の歩み]
			○	仲子 縫殿		神主 寺小屋(読書算術習字)		9				大向村 寺小屋嘉永3年~明治5男15女5/元治元年絵図あり		[註1][註5][註14] [防長寺社由来][徳山市教育の歩み]
	長崎徳兵衛重正	嗣子	○	長崎 正行		剣術師範		宗藩				徳兵衛重正筑前浪人長崎丹後守房親由緒		[譜]
	長崎正行 山縣傳右衛門女	長男	①	長崎 重信	十(重)右衛門	馬医	20四扶持	3	63	1718	享保3年8月18日	西下町東側自北3番 奉公以前吉敷郡小鯖出生/元禄12年出仕		[譜][註4]
	某 某女	＊	②	長崎 正信	源左衛門	馬医	20四扶持	4~5	72	1744	延享元年11月6日	享保4年家督/享保17年隠居		[譜]
	長崎重信 桂雲平女	＊長男	③	長崎 重俊	十右衛門 五郎左衛門	馬医	20四扶持	5	42	1746	延享3年2月7日	享保17年家督		[譜]
	某 某女	＊	④	長崎 正昭	七郎左衛門	馬医	20四扶持	5~7	72	1783	天明3年2月29日	延享3年家督/明和2年隠居		[譜]
	長崎重俊 長崎正信女	＊二男	⑤	長崎 正直	本蔵 七之進 正利[関家譜録]	馬医	20四扶持	7~8	72	1806	文化3年4月5日	明和2年家督		[譜]
	長崎源左衛門忠栄 徳地庄方宮崎但馬守正椿女	＊長男	⑥	長崎 正白	藤内 三左衛門 弥三左衛門	馬医	20二扶持	7~9	78	1850	嘉永3年12月24日	天明8年養子/寛政9年家督/文政9年御咎押隠居二扶持減少		[譜][註4]

長崎家	長崎正白 浅田宅行四女	長男	⑦	長崎 正俊	臺蔵 蔦次郎 正勝	馬医	20二扶持	7~8				文政9年家督/天保2年御咎押込隠居		[譜]
	長崎正俊 浅田宅格二女	長男	⑧	長崎 正芳	七之進 八蔵	馬医	20四扶持	8~9			(明治4年51歳 分限帳)	徳山村西ノ丁 天保2年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	長崎正俊 浅田宅格二女	＊三男	○	長崎 正延	(文久2年正芳養子)			9				文久2年養子		[譜]
	長崎正俊	嫡子	—	長崎 本蔵				9			(明治4年43歳 分限帳)			
	長崎正俊	＊嫡子	○	長崎 格馬			7.1(明治5年)	9			(明治4年25歳 分限帳)			
	長崎正芳	嫡子	○	長崎 留吉		中士下等	25九俵	9			(明治3年30歳 人員録)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
			—	長崎 栄蔵	長崎留吉家養育			9			(明治3年42歳 人員録)			
	長崎栄蔵	嫡子	—	長崎 忠之進				9			(明治3年14歳 人員録)			
			—	長崎 登	長崎栄蔵弟			9			(明治3年30歳 人員録)			
			—	長崎 牧太	長崎栄蔵叔父			9			(明治3年53歳 人員録)			
長崎家			—	長崎 傳兵衛	至道直覚信士	塗師		8		1830	文政13年正月29日		大迫田納骨塔(R5)自然石	
長崎屋			○	長崎屋 茂十郎				8		1838	天保9年7月5日	妻天保13年4月22日卒	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
中嶋家断	原田與一右衛門由之 中嶋某女	＊長男	①	中嶋 定行	喜左衛門 半右衛門	不明/御奥付(延宝年中)	45.183	1~3		1692	元禄5年6月5日	明暦年中出仕		[譜]
	中嶋定行 重岡某女	長男	②	中嶋 能正	兵右衛門 與一右衛門 ＊大量院機雲宗開居士	馬廻/大阪留守居役	80	3		1716	正徳6年正月11日[譜]	桜馬場西町北側一番 某年家督＊正徳6年正月12日卒	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	中嶋喜左衛門定行 徳山町重岡某女	二男	—	中嶋 静宣	→原田静宣	中小姓	27	3~5	66	1743	寛保3年9月29日	東中町西側自北1番 某年原田静正養子	徳応寺(R4)	[譜][註4]
	青木新右衛門忠房 某女	＊二男	③	中嶋 知章	喜左衛門 幸右衛門 真鎗無鋒居士	馬廻	80	3~5		1724	＊享保9年8月22日	正徳5年養子同6年家督	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	中嶋知章 谷左兵衛祐倫養妹	長男	④ 断絶	中嶋 貞正	七郎右衛門 権三郎	馬廻	80	5				享保9年家督/寛延3年咎筋断絶/母、祖母墓碑福田寺	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜]
	中嶋喜左衛門知章 谷左兵衛祐倫養妹	二男	—	中嶋 保正	→①中嶋保正	新知別家/馬廻	75	5	55	1773	安永2年3月30日	西町西側自北10番 享保19年出仕/妻智光院昌屋壽榮大姉安永10年4月10日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	中嶋幸右衛門知章 谷忠左衛門祐壽女	三男	—	中嶋 治右衛門	→桜井貞光	中小姓	35	5				享保20年桜井雄重養子/元文2年家督/延享4年病身に付暇		[譜]
	中嶋幸右衛門知章 谷忠左衛門祐壽女	四男	—	中嶋 與市				5		1724	享保9年8月22日			
中嶋家	中嶋定行 重岡某女	長男	○	中嶋 能正	兵右衛門 與一右衛門 ＊大量院機雲宗開居士	馬廻	80	3		1716	正徳6年正月11日譜	桜馬場西町北側一番 ＊正徳6年正月12日卒	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	青木新右衛門忠房 某女	＊二男	○	中嶋 知章	喜左衛門 幸右衛門 真鎗無鋒居士	馬廻	80	3~5		1724	＊享保9年8月22日		徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	中嶋喜左衛門知章 谷左兵衛祐倫養妹	二男	①	中嶋 保正	喜兵衛 兵蔵 清治 智寶院昌巌良榮居士	馬廻	75	5~7	55	1773	安永2年3月30日	西町西側自北10番 享保19年出仕/妻智光院昌屋壽榮大姉安永10年4月10日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	中嶋保正 神本久右衛門直知女	長男	—	中嶋 静充	→原田静充	中小姓	27	7	15	1784	天明4年9月23日	安永9年原田静貞養子	徳応寺(R4)	[譜]
	熊谷久左衛門直信 生田九郎右衛門直正女	＊長男	②	中嶋 直盛	侶之丞 坂次郎 一郎次 哲量院素朴淳心居士	馬廻	75	7~8	73	1824	文政7年11月25日	安永2年家督/享和3年隠居	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	中嶋直盛 中嶋保正女	長男	③	中嶋 恒忠	喜作 幸次郎 左仲	馬廻	75	8	48	1824	文政7年12月5日	享和3年家督/文化12年譜録提出	徳山・福田寺(R5)	[譜][註4]
	中嶋直盛 中嶋保正女	三男	—	中嶋 直國	乙次郎 (萩家来内藤六郎右衛門繁政養子)			宗藩				文化14年萩家来内藤六郎右衛門繁政養子		[譜]
	中嶋恒忠 桜井甚太夫嘉礼女	長男	④	中嶋 惟孝	達之介 甫 嘉八郎 宏覚院直應良心居士	馬廻	75	8	22	1835	天保6年8月29日	文政8年家督	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	吉弘直敬 三木傳内景貞女	＊三男	⑤	中嶋 悌治	直悌 悌介 禧兵衛 諄右衛門 浪江 直温 諄性院實道直悌居士	馬廻	85	8~9	73	(明治4年66歳 分限帳) 1878	明治11年10月25日	徳山村西ノ丁 天保7年家督/妻梅林院實岩清香大姉	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] (嘉永2年譜録提出)
	林三平佳甫 林以忠女	＊二男	⑥	中嶋 保敦	護之助(尉) 護	中士上等	50→14.1(M4)	9			(明治4年24歳 分限帳)	嘉永元年養子/元治元年譜録提出		[譜][註4] [御在城日記文久3年]
中嶋家			○	中嶋 行高	市兵衛			3頃						[小幡家譜録]
	小幡隆常 鳥羽右京隆直女	＊五男	○	中嶋 行興	小兵衛			3頃				某年養子		[小幡家譜録]
中嶋家断			断絶	中嶋 惣右衛門			20	1						[註4]
中嶋家断			断絶	中島 善兵衛			100	1						[註4]
			○	中島屋 国五郎				8				富田土井町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]

中島屋			○	中島屋 藤蔵				8				富田土井町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
			○	中島屋 六三郎				8				富田土井町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
仲小路家(ナカショウジ)			○	仲小路 忠治		大阪在身	15二扶持	5						[註4]
			○	仲小路 謙蔵	休謨	大阪在身	切15二扶持	9					大迫田(H30)	[註4]
											(明治5年51歳 分限帳)			
	仲小路謙蔵	嗣子	○	仲小路 禎介		大阪在身	15二扶持	9						[註4]
											(明治5年28歳 分限帳)			
	仲小路謙蔵	＊嗣子	○	仲小路 逸馬	仲小路禎介弟		4.7(明治5年)	9						
											(明治5年20歳 分限帳)			
仲小路家			○	仲小路 休詰 ☆	哲馬 鉄馬[註4]			9						[註4]
仲小路家			○	仲小路 現三郎		大阪定住	4.7(明治5年)	9						
											(明治4年 分限帳)			
仲小路家(ナカショウジ)	仲小路休量	二男	○	仲小路 廉	喜久三 靄軒 (兄市三・判事)	政治家/検事/枢密顧問官	正三位勲一等	9	59	1866	慶応2年7月3日			[註10][註11]
										1924	大正13年1月17日	屋敷跡碑(遠石出光北遊歩道)		
	仲小路廉	二男	○	仲小路 彰		思想家/哲学者		ー		1901	明治34年2月26日			
										1984	昭和59年9月1日			
長門屋			○	長門屋 利兵衛			上下着用	8~9				徳山枝町		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
長西家			○	長西 角兵衛		旗本奥田能登守家来		5頃						[竹村家譜録]
												角兵衛女竹村条右衛門嫁		
長西家	長西六右衛門	長男	○	長西 光親	六右衛門			毛利						[譜]
												長西家初代六右衛門芸州広島→萩→元和年中徳山		
	長西六右衛門光親	長男	①	長西 正親	長西家四代目 甚兵衛 甚平 (妻容光院明治元年4月15日卒60歳)	一代蔵本付後下士下等	切15後15	8~9					妻徳応寺	[譜][註4]
	上村徳原喜兵衛女										(明治4年68歳 分限帳)	きた、くら、つね三女あり/安政5年出仕/明治3年譜録提出		[安野家過去帳]
			―	長西 東左衛門	長西晴秋伯父[安野家文書]			9						
										1865	慶応元年12月9日			[安野家文書]
			―	長西 忠右衛門	→梅田忠右衛門 長西晴秋伯父[安野家文書]			9						
										1872	明治5年3月16日			[安野家文書]
	長西正親	長男	②	長西 信順	栄次 六瓢園 含(会)翠 (てる、きく二女あり)	寺小屋/俳人七草吟社六代目 藩知事時代史生	4.7(明治5年)	9	90			徳山村代々小路		[譜][註1][註5][註9][註14]
	藤井勘右衛門女										(明治4年32歳 分限帳)	寺小屋文久2年-明治5年男22女9[註5]		[安野家過去帳][輪墨一架]
	長西正親	二男	―	長西 晴秋	→安野晴秋/華嶺	蔵本付後下士下等 藩知事時代正権少属/画家	切15後15→4.7	9	75		(明治4年30歳 分限帳)			[譜][註4]
	藤井勘右衛門女									1917	大正6年4月2日	(安政2年村山善右衛門正武養子後同年安野家養子)		[安野家過去帳]
	長西信順	嫡子	○	長西 広輔		広島大学教授		9						
														[安野家過去帳]
	長西信順	嫡子	―	長西 住太郎	広輔の養子となる			9						
											(明治4年6歳 分限帳)			[安野家過去帳]
	長西信順	二男	―	長西 春次				―						
											(明治4年2歳 分限帳)	安野家養子後良弼誕生により退身後福山市千村家養子		[安野家過去帳]
	長西信順	嫡子	―	長西 四郎	依田四郎(大分県依田家に養子)	陸軍少将	従四位勲三等	―		1881	明治14年1月4日			[註10]
												徳山出身山口中学校/陸士卒		[安野家過去帳]
長西家			○	長西 泰応		寺小屋(読書算術習字) 藩士		9				徳山村		[註1][註5]
												寺小屋嘉永元年 明治3年男40女25		[徳山市教育の歩み]
長西家			○	長西 耕暁		天保の教育者		8~9					徳応寺[註8]	[註8]
			○	長西 耕春		明治の教育者		9					徳応寺[註8]	[註8]
長西家			①	長西 銀衛門		上士福間蕃雄家来	4.7(明治5年)	9						
											(明治4年62歳 分限帳)			
	長西銀衛門	嫡子	○	長西 唯吉				9			(明治4年36歳 分限帳) (明治3年33歳 人員録)			
	長西唯吉	嫡子	○	長西 源太郎				―						
											(明治4年4歳 分限帳)			
長西家			①	長西 東蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治5年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年33歳 分限帳)			
			―	長西 梅吉	長西来蔵弟			―						
											(明治5年10歳 分限帳)			
	某女		○	野村 勝行	惣右衛門 衛行	持弓	15	3				櫛ヶ浜		[譜][註8]
	野村惣右衛門勝行	長男	①	長沼 常庵	玄珍 道恕(如) 道安 食[註5] ＊常庵玄珍居士	馬廻/医師	十五扶持	3~5				東町東側自北11番	＊徳山・福田寺	[譜][註1][註4][註5][註8][註11]
	某女									1730	享保15年8月21日	元禄12年改姓長沼/17年京都遊学山脇東行師事/『徳山府記』著		[註14]＊[徳山市社寺文化財調査]
	長沼常庵	長男	②	長沼 岡鳳	玄珍 玄珉 春益 (四代目再家督)	馬廻/医師	100	5~7	78				徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜][註1][註8]
	中村某女									1788	天明8年2月23日	享保15年家督/明和3年隠居		
	長沼岡鳳	長男	③	長沼 直行	玄珉 民蔵 文安 子政 (墓碑密着戒名判読不可)	馬廻/医師	100	7	40				徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜][註1][註5葵園遺稿][註8]
	粟屋市左衛門方房女									1773	安永2年3月1日	明和3年家督/碑文青木節葵園(全文徳山市史史料掲載)		
	長沼常庵	長男	④	長沼 岡鳳	玄珍 玄珉 春益 (二代目岡鳳再家督)	馬廻/医師	100	7	78				徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜][註1][註8]
	中村某女									1788	天明8年2月23日	安永2年再度家督/天明4年隠居		

長沼家	長沼直行 中川半左衛門忠英妹	長男	⑤	長沼 之鑒	玄珍 立孝 民蔵	馬廻/医師	100	7					妻徳山・福田寺(R3) 天明4年家督/後妻清心院禪嶽智遠大姉天保9年12月6日卒	[譜][註1] (寛政4年譜録提出)
	長沼直行 奥田代右衛門政美妹	＊二男	⑥	長沼 政明	傳治 佐嘉次郎 一時奥田家養子 (之鑒死亡奥田政美離縁実家戻)	馬廻/医師	100	7~8					寛政8年正月家督/文化10年隠居/文化5年譜録提出	[譜][註4]
	長沼之鑒 林又次郎正純女	＊長男	⑦	長沼 温勝	玄琳 孝之助 文貞 輝光玄琳居士	馬廻/医師	100	8	46	1833	天保4年12月27日	文政13年隠居/文化13年譜録提出	徳山・福田寺(R3)	[譜][註8]
	松浦三省(下松医師) 谷野藤兵衛女	＊二男	⑧	長沼 温	泰順 山本孝淑養弟 (堇翁63歳M4旧士族分限帳)	馬廻/医師 富田御殿御付	100	8~9				文政13年家督/嘉永3年牛痘開始その用掛	徳山村三番丁	[譜][註1][註14] (天保14年譜録提出)
	長沼温 長沼温勝女 長沼温	嗣子	⑨	長沼 歓吾	(妻長嶺保衛門二女こと)	馬廻後中士上等/藩医	100後50→14.1	9	50	1844 1893	弘化元年8月11日 明治26年	第二次長州征伐時、野戦病院本営/伏見戦争他従軍	徳山村三番丁開業	[譜][註1][註4][註13]
		嫡子	―	長沼 猷吉				9			(明治4年19歳 分限帳)			
長沼家	某女		○	野村 勝行	惣右衛門 衛行	持弓	15	3				櫛ケ浜		[譜][註8]
	組万村鶴岡四郎兵衛貞陳 佐久間清左衛門女	＊二男	①	長沼 貞真	惣右衛門 忠右衛門	中小姓	25	3~5	69	1733	享保18年3月25日	下間ノ町東側自北2番 元禄6年養子/65歳没[註8]/享保8年改姓長沼	＊徳山・福田寺	[譜][註4][註8] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	鶴岡五郎左衛門一玄 某女	＊二男	②	長沼 貞頭	惣右衛門 甚七 善次 小團次 忠清	中小姓	25	5	49	1758	宝暦8年9月11日	享保18年家督		[譜]
	長沼貞頭 三木善兵衛孝春女	長男	③	長沼 貞直	権右衛門 熊八 猪之助 惣左衛門	中小姓	25	6~8	62	1802	享和2年2月20日	宝暦8年家督		[譜]
	長沼貞頭 三木善兵衛孝春女	二男	―	長沼 殷都	團蔵 虎八			常州				明和3年正月永暇願後常州(茨城)笠間牧野家召仕		[譜]
	長沼貞頭 三木善兵衛孝春女	三男	―	長沼 節	→青木節(葵園)宝暦8年家督			7	31	1777	安永6年7月2日	亀井南冥・本城紫巖師事/麻布教運寺遺髪徳山八正寺	泉原共同墓地(H30)碑文南冥	[譜][註1][註5][註8][註9][註11] [註16][註5,11 没安永7年]
	長沼貞頭 三木善兵衛孝春女	四男	―	長沼 冨蔵		常祷院弟子		6~				宝暦8年5月常祷院弟子		[譜]
	長沼貞頭 三木善兵衛孝春女	五男	―	長沼 素行	連蔵 與五郎			勢州				明和8年勢州長島増山家小阿瀬専右衛門養子		[譜]
	青木節 増野松伯良行妹	＊長男	④	長沼 簡	文次(治)郎 采石 安次郎 蒙山 大斐 妻蓮心院英操浄貞大姉文化7年卒	馬廻/評定役	50	7~8	60	1775 1834	安永4年 天保5年7月14日	享和2年家督/鳴鳳館三代教授/熊本時習館教授高木紫溟門下	徳山・福田寺(R3)碑文[註16]	[譜][註1][註4][註5][註8][註11] [註16][青木西峰遺稿/註5]
	長沼簡 杉原舎盛周女	長男	⑤	長沼 惇	敬太 鼎 伯庸	馬廻/両人役兼文武方	50	8~9			(明治4年66歳 分限帳)	天保5年家督/嘉永3年譜録提出	徳山村中ノ丁	[譜][註8]
	長沼簡 杉原舎盛周女	二男	―	長沼 周茂	→杉原周茂(嘉樹)	組外馬廻/評定役	110	8~9	61	1867	慶応3年2月16日	天保元年杉原孝之丞盛緝養子	中ノ丁 徳山・福田寺(R3)	[譜][註8]
	長沼惇 杉原孝之丞盛緝女	長男	⑥	長沼 恂 ☆	覚 貞恂	馬廻後中士上等	50	9			(明治4年33歳 分限帳)	安政5年家督/明治3年譜録提出/＊眼病為津和野医師田原へ		[譜][註4] ＊[御在城日記文久3年]
	長沼恂	嫡子	⑦	長沼 五百城				9			(明治4年6歳 分限帳)			
長沼家断			断絶	長沼 喜兵衛		徒士	20	不明						[註4]
中野家			○	中野 市左衛門		役人		3				御米銀石高一紙付渡帳(徳山毛利文庫 享保4年)		[註4]
長野家	次郎左衛門	嗣子	○	次郎兵衛				―				祖は勢州(伊勢国)安濃津郡長野→吉敷郡山口→上村南野	徳山村農民	[譜]
	次郎兵衛	嗣子	○	権右衛門[ママ]				―					徳山村農民	[譜]
	権左衛門[ママ] 徳山村河村某女	三男	○	長野 信義	→①長野信義 (権右衛門弟[ママ])	新知別家/蔵本付	切15一半扶持	7~8	7□	1803	享和3年3月26日	安永5年吉屋改姓長野/明和7年12月出仕/寛政6年隠居	権左衛門今宿居住	[譜]
	権右衛門[ママ]	嗣子	○	幸左衛門				8頃					徳山村農民	[譜]
	徳山村農民市左衛門 徳山村某女	＊二男	①	長野 信近	助右衛門	蔵本付	切15	9	69	1859	安政6年8月17日	奉公以前御家微賤召仕/天保13年出仕		[譜]
	長野信近 徳山村某女	長男	―	長野 信章	弥一郎			9				嘉永3年病身に付嫡子退身		[譜]
	谷政盈 宇野甚右ヱ門弘澄女	＊二男	②	長野 政幸	和兵衛 諄助 義幸 政吉 助右衛門(士族人員録)	蔵本付後一代下士上等	15後20→4.7	9			(明治4年46歳 分限帳)	安政元年養子同6年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	長野政幸 長野信近女	長男	○	長野 蔵槌				9			(明治4年10歳 分限帳)			[譜]
長野家	権左衛門[ママ] 徳山村河村某女	三男	①	長野 信義	辰左衛門 (祖父次郎兵衛)	蔵本付/検断頭	切15一半扶持	7~8	7□	1803	享和3年3月26日	安永5年吉屋改姓長野/明和7年12月出仕/寛政6年隠居	権左衛門今宿居住	[譜]
	長野信義 徳山村河村久右衛門女	長男	②	長野 信温	貫助 官助	徒士	20	8				寛政6年家督/天保5年隠居/文化12年譜録提出		[譜][註4]
	長野信温 富田村藤井栄次郎女	長男	③	長野 信敏	武兵衛	徒士	20	8	31	1834	天保5年12月22日	天保5年8月家督		[譜]
	寺田貞褒 田村文右衛門女	＊二男	中継	長野 信近	栄治 貞房 萬槌 →寺田敦恒(寺田家当主死亡に付)	徒士	20	9				天保6年家督同9年退身実家へ		[譜]
	内山林蔵正景 中村弥吉親堅女	＊三男	④	長野 信行	短左衛門 文吉 作平次 短衛門	徒士後下士上等 藩知事時代正権少属	20→5.7(M5)	9			(明治4年51歳 分限帳)	天保10年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	長野信行 福谷藤治郎義方女	長男	⑤	長野 信昌 ☆	金之丞			9			(明治4年21歳 分限帳)			[譜][註4]

	長野信行 福谷藤治郎義方女	＊二男	—	長野 短通	→黒川短通			9		(明治4年19歳 分限帳)		上御弓丁 文久2年11月15日黒川通宴養子		[譜]
	長野信行	三男	—	長野 官治				9		(明治4年6歳 分限帳)				[譜]
	長野信行	四男	—	長野 侃樹	侃吉			—		(明治4年3歳 分限帳)				[譜]
長野家			①	長野 修平		河合組上等	4.36(明治5年)	9		(明治5年24歳 分限帳)		徳山村今宿		
長野家			①	長野 千里右衛門		河合組下等	4.7(明治5年)	9		(明治4年39歳 分限帳)				
長野家			①	長野 新蔵				9		(明治5年57歳 分限帳)				
	長野新蔵	嗣子	②	長野 喜作		河合組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年28歳 分限帳)		徳山村寺町		
	長野新蔵	嫡子	—	長野 清助				9		(明治5年19歳 分限帳)				
	長野新蔵	嫡子	—	長野 高三郎				9		(明治5年13歳 分限帳)				
長野家			①	長野 潤平		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年24歳 分限帳)		徳山村今宿		
長野家			①	長野 千代蔵		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年56歳 分限帳)		徳山村今宿		
	長野千代蔵	長男	○	長野 金太郎	金蔵			9		(明治5年21歳 分限帳)				
	長野千代蔵	二男	—	長野 久吉				9		(明治5年18歳 分限帳)				
	長野千代蔵	三男	—	長野 傅吉				9		(明治5年14歳 分限帳)				
長野家			①	長野 深右衛門		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年54歳 分限帳)		徳山村今宿		
	長野深右衛門	長男	○	長野 金蔵				9		(明治5年21歳 分限帳)				
	長野深右衛門	二男	—	長野 秀吉				9		(明治5年18歳 分限帳)				
長野家			○	長野 保蔵		農兵銃陣小隊		9						[註1]
長野家			○	長野 与兵衛		庄屋	上下着用	8~9				徳山村 与兵衛ら38人杉苗27万本余り大島へ植林献納(天保8年)		[註1][註4] [田畠向諸願控]
長野家			○	長野 祐庵				萩				佐波郡徳地村		[山田通利譜録]
			—	長野 知昌	→山田知昌	徒士	20	~8	79	1800	寛政12年7月8日	某年山田通利養子家督/村上常直甥		[山田通利譜録]
長野家			○	長野 祐伯		医学		8頃				富田 医師四熊家『見学堂』門人(1800年前後)		[註1]
長野家			○	長野 昌英		山崎隊病院管轄		9						[註4]
長野家			○	長野 芳策		町方医		9				福川 第二次長州征伐時、第三病院勤務		[註1][註7]
長野家			○	長野 弥兵衛	＊墓碑南無阿弥陀仏(蓮座)			1		1675	延宝3年正月29日		＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
長野家			○	長野 権兵衛		大工		1				寛文7年就隆公建立再興大道理村三島大明神御殿		[防長寺社由来]
長野家			○	長野 徳左衛門		庄屋		1				大道理村 寛文7年就隆公建立再興大道理村三島大明神御殿		[防長寺社由来]
長野家			○	長野 覚兵衛	花筥仙 花筑仙 覚左衛門 百歩園文和[註9] 百歩園文雅	俳人 大庄屋(明治4年)		9				徳山村今宿 徳山美濃派鼓吟社六代目/素封家[註1]		[註1][註9]
長野家		＊	—	長野 繁蔵	桜樹仙 桜蔭 文志 半蔵 長野覚左衛門弟	俳人		9				富田大神 徳山美濃派鼓吟社八代目		[註1][註9][註16]
	長浜大膳		○	長浜 長光	九左衛門			—				上州長浜		[譜]
	長浜九左衛門長光 根木子馬之助女	長男	①	長浜 真勝	五郎左衛門 九左衛門 夢楽 (市郎左衛門・六左衛門・甚之丞三男有)	馬廻	250	1~2	90	1686	貞享3年11月15日	上東横町北側自西1番 奉公以前江戸浪人/某年出仕		[譜]
	山下数馬隆重 某女	＊二男	②	長浜 實房	弥太夫	馬廻	250	1~3	74	1719	享保4年6月29日	某年家督/某年隠居		[譜]
	長浜實房 長濱真勝女	長男	③	長浜 實重	五郎左衛門 真重 五郎太夫	馬廻/＊寺社奉行(正徳5年)	250	3~5	70	1737	元文2年9月19日	某年家督/某年隠居		[譜][註4] ＊[防長寺社由来]
	長浜實房 長濱真勝女	二男	—	長浜 實好	権平 伴右衛門	新知別家/中小姓	25	3				元禄4年8月出仕/元禄16年暇家柄断絶以後不明		[譜]
	長浜實房 長濱真勝女	三男	—	長浜 武左衛門		新知別家/中小姓	五扶持	5				享保6年2月出仕/某年暇家柄断絶以後不明		[譜]

長浜家	長濱實重 近藤茂兵衛女	長男	④	長浜 實勝	平太夫	馬廻	250	5	34	1738	元文3年4月9日	某年家督		[譜][註4]
	長濱實勝 磯兼求馬景秋女	二男	⑤	長浜 成實	五郎左衛門 勝之助 六郎左衛門	馬廻/*寺社奉行(宝暦11年)	250	5~7	50	1777	安永6年5月12日	元文3年家督		[譜] *[防長寺社由来]
	磯兼四郎兵衛景映 磯兼某女	*二男	⑥	長浜 馴實	實敷 舎人 松治郎 織治郎 利馬 求馬	馬廻	250	7~8				安永6年家督/御咎隠居文化5年(1808)/同年譜録提出	大迫田本正寺(H30)	[譜][註1][註4]
	長濱馴實 大野謙直房妹	長男	—	長浜 實恵	玄章 孝之助			8		1832	天保3年8月8日			[譜]
	長濱馴實 大野謙直房妹	三男	⑦	長浜 實慎	五郎太夫 政之進 織次郎 岩太 数馬 舎人 栄瀬	馬廻/物頭役	250	8~9		(明治4年77歳隠居分限帳)		文化5年(1808)家督/嘉永元年隠居	大迫田本正寺(H30)	[譜][註4]
	長濱馴實 大野謙直房妹	四男	—	長浜 郷張	→松田郷張 森重正芳、神代常武養子離縁	中小姓		8~9		18歳無方流槍術19歳中島流砲術皆伝/天保11年(1840)松田郷英養子				[譜][註1六男][註5]
	長濱馴實 橋本作次郎	五男	—	長浜 實正	伝衛 直之進			8		1829	文政12年3月5日			[譜]
	長濱馴實 大野謙直房妹	六男	—	長浜 某				8		1824	文政7年8月14日			[譜]
	長濱實慎 杉山衛守寿静伯母	二男	⑧	長浜 實義 ☆	主悦 岩太 好雄 義□ 五郎四郎 (長浜實慎長男早世)	馬廻後中士上等	250後70→19.4	9		(明治4年43歳 分限帳)		徳山村中ノ丁 嘉永元年家督同7年山崎八幡宮にて騎射奉納		[譜][註4] (明治3年譜録提出)
	長濱實慎 本城光信女豊	三男	—	長浜 実久	俊雄 久之輔			9		(明治4年33歳 分限帳) (明治3年34歳 人員録)				[譜]
	長濱實慎 牧市五郎直明伯母	四男	—	長浜 実正 ☆	勘之丞 直衛 邑雄			9		(明治4年27歳 分限帳)				[譜][註4]
	長濱實慎 牧市五郎直明伯母	五男	—	長浜 実保 ☆	浦人 重美(旧士族分限帳)			9		(明治4年20歳 分限帳)				[註4]
	長浜實義 河合要太郎宗温妹	長男	⑨	長浜 三亀				9		(明治4年18歳 分限帳)		明治5年義□より家督		
	長浜實義 河合要太郎宗温妹	二男	—	長浜 虎雄				—		(明治4年6歳 分限帳)				
	長浜實義	三男	—	長浜 貞治				—		(明治4年1歳 分限帳)				
長浜屋			○	長浜屋 市兵衛		用達商人		3				大阪蔵屋敷役人と5ヶ年契約(元禄8年1695)		[註1][註4]
			○	長浜屋 太郎兵衛		用達商人		3				契約(元禄11年～12年)		[註4]
中原家			○	中原 松軒	→奈古屋里人			3						[註1]
中原家			○	中原 元簡	→奈古屋翰之元簡			9						
長弘家			○	長弘 武昌	弥右衛門			5頃				武昌娘宝暦3年4月晦日卒(福田寺R3)		[譜]
	長弘弥右衛門武昌	嗣子	○	長弘 宇太夫				—						[譜]
	宇太夫 徳山村福谷吉郎兵衛女	長男	①	長弘 武貞	基助 武久	蔵本付	15	8~9	77	1855	安政2年正月21日	徳山村 奉公以前御家微賤召仕/天保8年出仕/嘉永2年譜録提出		[譜]
	長弘武貞 徳山村戸倉衛蔵妹	長男	②	長弘 武陳	清兵衛	蔵本付	15	9		(明治4年60歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
	長弘基助武久 徳山村戸倉清蔵妹	二男	—	長弘 清苗	→福田清實	蔵本付後下士下等 藩知事時代正権少属	切15後15→4.7	9		(明治4年56歳 分限帳)		福田儀平敬義養子/明治3年福田家譜録提出		[譜][註4]
	長弘基助武久 徳山村戸倉清蔵妹	三男	—	長弘 某	(萩町人明石十左衛門養子)			9				某年萩町人明石十左衛門養子		[譜]
	長弘基助武久 徳山村戸倉清蔵妹	四男	—	長弘 玄久	(亀井隠岐守御殿医師岩本玄祥養子)			9				安政3年亀井隠岐守御殿医師岩本玄祥養子		[譜]
	長弘武陳 徳山藩士原田米蔵直憲姉	長男	③	長弘 五郎三郎			4.7(明治5年)	9		(明治4年19歳 分限帳)				[譜]
長弘家			①	長弘 節左衛門			4.36(明治5年)	9		(明治5年41歳 分限帳)		徳山村東浜崎町		
	長弘節左衛門	嫡子	○	長弘 又兵衛				9		(明治5年7歳 分限帳)				
長弘家			○	長弘 房良	友助 秋岳玄光居士			9		1848	弘化3年月25日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
長広家			○	長広 源蔵		米改良組合委員(明治20年)		9						[註1]
長廣家			○	長廣 利兵衛	□光院忠山義勇居士	軍人		9		1900	明治33年9月7日	北京にて死亡	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
長松家			①	長松 緑衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年49歳 分限帳)		徳山村今宿		
	長松緑衛門	長男	○	長松 林蔵				9		(明治5年18歳 分限帳)				
	長松緑衛門	二男	—	長松 繁助	半助			9		(明治5年12歳 分限帳)				

永松家			○	永松 逸三		共栄社取締役(明治29年)		9						[註1]
長見家断			断絶	長見 源兵衛			20	1						[註4]
長見家断			断絶	長見 久之丞			20	1						[註4]
長嶺家			①	長嶺 友雄	小倉孫左衛門貞信養育			9		(明治3年21歳 人員録)				
長嶺家			①	長嶺 龍渓		上士奈古屋裕家来		9		(明治3年23歳 人員録)				
長嶺家			○	長嶺 亦左衛門尉		作事奉行		1			元和7年大道理村三島大明神神殿再興			[防長寺社由来]
長嶺家	津和野藩吉見小太郎政頼 長嶺某女	嫡子	①	長嶺 信政	平左衛門			—		1616 元和2年11月12日	大向村 長嶺家墓所「姓並家紋之由来」石碑	大向西方寺心太山墓苑(R3)		
			○	長嶺 与右衛門		庄屋(享保4年) 二俣大明神棟上願主(元禄13)		3~5			大向村 大向村御物成御米銀高一紙(享保4)			[註4] [防長寺社由来]
			○	長嶺 六郎右衛門	女→福根常時嫁ぐ(享和3年5月16日)	農民		~8			大向村			[福根家譜録]
			○	長嶺 保左衛門		庄屋(安政6年)	切米1石二代帯刀	9			大向村			[中山家文書]
			○	長嶺 右平次		都濃郡第5区副戸長 (明治4年住農)		9			大向村			[註4]
			○	長嶺 茂作		大向村戸長(明治12年)		9			大向村			[註4]
長棟家			①	長棟 兵馬			1.8(明治5年)	9		(明治5年27歳 分限帳)	大島村居守			
(藤掛家) 中村家	中村小左衛門忠行 某女	嗣子	○	中村 忠光	徳右衛門			宍戸			奉公以前熊毛光尾村			[譜]
	中村徳右衛門忠光 某女	嫡子	①	中村 春政	久右衛門	中小姓	25	1		1671 寛文11年3月10日	奉公以前熊毛光尾村 元和年中出仕			[譜]
	中村春政 某女	長男	②	中村 春信	治兵衛	中小姓	25	1~2	30余	1680 延宝8年7月24日	寛文11年家督			[譜]
	中村春政 某女	＊二男	③	藤掛 親春	治兵衛 六之助 小平次	中小姓	30	2~5	84	1744 延享元年11月22日	西町西側自北11番 延宝8年家督/享保20年隠居/天和年中改姓藤掛某年中村称ス			[譜]
	中村親春 夜市村山本五兵衛女	長男	—	中村 貞春	源七 七郎左衛門	御雇中小姓	25	5			享保年中御雇			[譜]
	西豊井村宇田市左衛門 西豊井村某女	＊長男	④	中村 春忠	小左衛門 久右衛門	中小姓/地山頭	45	5~7	84	1791 寛政3年7月5日	享保20年家督/天明7年隠居			[譜][註4]
	中村久右衛門春忠 中村治兵衛親春女	長男	⑤	中村 忠明	治兵衛 梅之進 治平	中小姓	45	7~8	66	1805 文化2年11月6日	天明7年家督/無方流剣槍術取立方			[譜][註5]
	中村久右衛門春忠 中村治兵衛親春女	二男	—	中村 與一郎	→伊藤信栓	中小姓	25	5~6		1761 宝暦11年10月29日	宝暦7年伊藤市兵衛信武養子家督			[譜]
	中村久右衛門春忠 中村治兵衛親春女	三男	—	中村 新太郎	→箱嶋正能	中小姓	25	5~8	63	1810 文化7年7月15日[譜]	宝暦7年箱嶋右内跡家督/妻天保13年(1842)10月25日墓碑	大迫田金剛寺(H30)		[譜] (文化5年譜録提出)
	中村久右衛門春忠 中村治兵衛親春女	四男	—	中村 伴次	(近藤仁助内久養子)			7			安永2年3月26日近藤仁助内久養子			[譜]
	中村忠明 相川荻右衛門直堅女	長男	断絶	中村 忠範	清助 梅三郎 治兵衛	中小姓	45	8	38	1821 文政4年4月9日	文化3年家督/無方流剣槍術取立方/文化12年譜録提出	江戸死去		[譜][註4][註5]
	中村忠範 瀬戸村有馬丈助女	＊長男	⑥	中村 春秀	治 小次郎 整庵 服斗[註8] 實忠院義嶽整庵居士	馬廻評定役坐/書道家	50	8~9	65	(明治4年61歳 分限帳) 1875 明治8年2月9日	西ノ丁 文政4年家督/市川米庵師事/本城太華並阿米旌表之碑筆	徳山・福田寺(R3)		[譜][註1][註8][註11][註16] (嘉永2年譜録提出)
	中村忠範 瀬戸村有馬丈助女	二男	—	中村 養蔵	→玉井英相	中小姓	42	8~9	33	1845 弘化2年7月6日	天保2年8月13日玉井傳方直家督			[譜]
	中村春秀 藤井健輔常全妹	長男	⑦	中村 忠善	一郎 多喜雄 治衛	中士上等	50→14.1(M4)	9		(明治4年18歳 分限帳)	安政2年家督/明治3年譜録提出			[譜][註4] [御在城日記文久3年]
	中村春秀	嫡子	—	中村 千馬				9		(明治4年10歳 分限帳)				
中村家	防府宮市弥権太夫 某女	長男	①	中村 光貞	兄部光貞 与兵衛	中小姓	25	3~5	70余	1739 元文4年正月11日	防府宮市商民 奉公以前御家微賤召仕/宝永5年出仕兄部改姓中村			[譜][註4]
	中村光貞 防府宮市橘與左衛門女	長男	②	中村 光昭	弥一左衛門 重弥	中小姓	25	5~7	64	1766 明和3年6月2日	元文4年家督			[譜]
	中村光昭 西豊井村宇田市左衛門女	四男	③	中村 光清	與八 繁五郎	中小姓	25	7~8	56	1809 文化6年9月5日	明和3年家督/文化5年譜録提出			[譜]
	中村光清 山下順庵信行女	長男	④	中村 光明	祐次郎 百合之進 与平	中小姓	25	8~9			文化6年家督/文化12年譜録提出			[譜][註4]
	中村光清 山下順庵信行女	二男	—	中村 卯三郎	(萩家来佐方金左衛門養子)			宗藩			文化4年10月萩家来佐方金左衛門養子			[譜]
	中村光明 徳応寺養女	長男	⑤	中村 光実 ☆	達之丞 百合熊 明	中小姓後中士下等	25→10.2(M5)	9		(明治4年37歳 分限帳)	西ノ丁西側自下2番 嘉永6年家督/明治3年譜録提出			[譜][註4]
	中村光実 久米村山本市左衛門女	嫡子	⑥	中村 武馬三				9		(明治3年6歳 人員録)				

中村家断			①	中村 直久	六兵衛	不明	不明	1						[本家附平太夫譜録]
	某女									1662	寛文2年5月8日	奉公以前不知/某年出仕		
	中村某	＊	②	中村 直次	六兵衛 中村久左衛門春政兄			1~2						[本家附平太夫譜録]
	某女									1684	貞享元年10月29日	某年家督		
	中村直次	長男	③	中村 直角	平太夫	小姓後中間頭	25	2~5						[本家附平太夫譜録]
	奈古屋忠助宅栄妹									1740	元文5年7月15日	某年家督/某年隠居/徳山藩再興功労者[註1]		[註1][註4]
	中村直次	嫡男	—	中村 糺美	→中川糺美			5~7	56					[譜]
	奈古屋忠助宅栄妹									1771	明和8年7月26日	元文元年中川重道養子		
	中村平太夫直角	長男	④ 断絶	中村 直明	六兵衛			~5						[本家附平太夫譜録]
	奈古屋忠助宅栄妹											享保20年断絶		
	中村平太夫直角	二男	—	中村 直方	→①中村直方	新知別家/中小姓	25	5~6	52			下間町東側自北3番		[譜]
	奈古屋忠助宅栄妹									1761	宝暦11年7月8日	享保9年出仕		
中村家	中村平太夫直角	二男	①	中村 直方	弥左衛門 増之助 蔀 小文治	中小姓	25	5~6	52			下間町東側自北3番		[譜]
	奈古屋忠助宅栄妹									1761	宝暦11年7月8日	享保9年出仕		
	田中佐左衛門克敬	＊四男	②	中村 直行	平太夫 長七 弥右衛門 清次郎	中小姓	25	6~8	73					[譜]
	川曲村河野吉左衛門女									1818	文政元年10月17日	宝暦9年養子同11年家督/文化6年隠居/文化5年譜録提出		
	井村親友	＊四男	③	中村 直郁	弥右(左)衛門 栄次郎 六兵衛	中小姓	25	8~9	68					[譜][註4]
	井村可倫庸親女									1858	安政5年正月6日	文化6年家督/嘉永2年譜録提出		
	中村直郁	二男	④	中村 直格	格雄 瀧由 瀧之丞	中小姓後中士下等	25→10.2(M5)	9						[譜][註4][註8]
	河谷因幡陣実女									（明治4年48歳 分限帳）		安政5年家督/撃剣会開催[註8]/明治3年譜録提出		
	中村直格	長男	⑤	中村 庸太郎				9						
	粟屋治郎左衛門正義女									（明治4年13歳 分限帳）				
	中村直格	二男	—	中村 建次郎				9						
										（明治4年5歳 分限帳）				
	中村直格	三男	—	中村 多駒三郎				—						
										（明治5年1歳 分限帳）				
中村家	兼田貞六	長男	○	中村 惣左衛門				8				祖清左衛門阿武郡松本村		[譜]
	某女											祖元和年中萩より/文政3年出仕改姓中村		
	中村惣左衛門	長男	①	中村 直政	平助	徒士/吟味方	20	8~9	84					[譜][註4][註14]
	富田平野小川屋助左衛門女									1858	安政5年9月14日	天保3年(1832)浜崎浦、道源開作沖埋立掛に任命される。		
	中村直政	長男	②	中村 直香	三郎右衛門 貞右衛門 元衛門 花洞仙 時雨庵牧牛(熊野神社句塚)	徒士/俳人	20	9				代々小路	徳山・八正寺 [註8]	[譜][註1][註4][註8][註9][註16]
	半田宗五郎妹									1870	明治3年	嘉永2年家督/徳山美濃派鼓吟社四代目[註1]		(嘉永2年譜録提出)
	中村平助直政	二男	—	中村 英盛	文治 太輔 →和田英盛 後三田尻商民光永周三郎育	持弓	15	9						[譜]
	徳山村丈右衛門姉											天保13年和田盛房養子/弘化4年退身同年光永周三郎育		
	中村直香	長男	③	中村 直之 ☆	武一郎	下士上等	20→5.7(M5)	9						[譜][註4]
	徳山町久村卯兵衛女									（明治4年19歳 分限帳）		明治3年譜録提出		
	中村直香	二男	—	中村 龍次				9						[譜]
	徳山町久村卯兵衛女									（明治4年16歳 分限帳）				
中村家			○	中村 勁吾	撫琴	戊辰戦争操鼓隊従軍 女学校書記	士族	9						
														[翰墨一架]
中村家			○	中村 章詮	五兵衛			—				京都		[譜]
												延宝頃豫州浪人		
	中村章詮	二男	①	中村 孝章	彦右衛門	細工人/檜皮	13三扶持	2~3	68					[譜][註4]
	豫洲某女									1716	正徳6年2月10日	兄宗四郎今治御奉公/天和年中徳山/正徳6年正月隠居		
	中村孝章	長男	—	中村 章明	孫兵衛			3頃						[譜]
	重岡屋伊八女													
	豫洲今治中村宗四郎	＊長男	②	中村 章孝	源右衛門 源七	細工人/檜皮	13三扶持	3~5	65					[譜]
	某女									1750	寛延3年11月27日	正徳6年正月家督/享保10年隠居		
	中村孝章	＊二男	③	中村 章達	彦右衛門 彦左衛門	細工人/檜皮	13三扶持	5	43					[譜]
	重岡屋伊八女									1740	元文5年3月5日	享保10年家督		
	中村章達	長男	④	中村 孝亮	彦右衛門 彦七	細工人/檜皮	13三扶持	5~6	39					[譜]
	徳山町重岡屋正八女									1763	宝暦13年2月29日	元文5年家督		
	中村孝亮	長男	⑤	中村 孝規	三蔵 久蔵 幸八	細工人/檜皮	13三扶持	6~7	32					[譜]
	田畑善左衛門清高姉									1784	天明4年正月4日	宝暦13年家督		
	都濃郡平井村吉左衛門	＊二男	中継	中村 規堅	弥吉 直右衛門 真右衛門[註4]	細工人/檜皮	13三扶持	7~8	54					[譜][註4]
	栗屋村某女									1816	文化13年11月20日	天明4年家督/文化5年譜録提出		
	中村弥吉規堅	＊長男	—	中村 金義	→小川金義	中小姓	25	9	60	1814	文化11年	新丁	北山共同墓地(H30)	[譜][註4][註11][註16]
	佐藤勘左衛門喜之女									1873	明治6年3月14日	天保9年小川金伴養子/安政4年家督/俳諧和歌を嗜んだ		
	中村孝規	長男	⑥	中村 章房	彦左衛門 栄次郎	蔵本付/仕立方	15二扶持	8						[譜]
	藤本某女											文化13年家督/天保13年隠居		
	中村章房	長男	⑦	中村 章盈	彦兵衛 熊次郎 熊吉	蔵本付/仕立方	15二扶持	9						[譜]
	平井村河村喜兵衛女									1853	嘉永6年11月24日	天保13年家督/嘉永2年譜録提出		
	村瀬某	＊	⑧	中村 章要	喜兵衛 次郎 源右衛門	蔵本付→下士下等	15二扶持→4.7	9						[譜][註4]
										（明治4年46歳 分限帳）		嘉永7年家督/明治3年譜録提出		
	中村茂右衛門延貞	嗣子	○	中村 五右衛門				—						[譜]
	中村五右衛門	嗣子	○	中村 吉右衛門				—						[譜]
	中村吉右衛門	嗣子	○	中村 □兵衛				—						[譜]

中村家	富田川崎町商民□兵衛 伊豆蔵與次右衛門女	長男	①	中村 延栄	甚七	蔵本付	切3	8~9	53	1849	嘉永2年4月28日	富田川崎 役人止宿(天保2年1831)/天保5年出仕		[譜][註1][註4]
	中村延栄 三田尻河野角左衛門女	長男	②	中村 延祥	章之丞 章之助	蔵本付/準士 都濃郡4区戸長(明治4年)	15→4.7(M5)	9		(明治4年48歳 分限帳)		富田村 嘉永2年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	中村延栄 三田尻河野角左衛門女	二男	—	中村 延貞	熊次郎 柳洞 楠洞 楠洞院釈自覚洗心居士	習字師 寺小屋(安政2年~明治6年)		9	57	1832 1887	天保3年 明治20年12月25日	富田川崎 読書習字珠算生徒数100人	楠洞中村先生之墓川崎観音 後富田小学校川崎分校	[註7](明治4年41歳 分限帳) [生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	中村延栄 三田尻河野角左衛門女	四男	—	中村 延秀	孝四郎			9		(明治4年36歳 分限帳)				
	中村延栄 三田尻河野角左衛門女	五男	—	中村 延稠	保五郎			9		(明治4年33歳 分限帳)			大迫田金剛寺(H30)	
	中村延祥 鹿野村弥益清九郎女	長男	③	中村 延明	織之助 儀之助(M5年旧士族分限帳)			9		(明治4年16歳 分限帳)				[譜]
中村家			○	中村 幹雄		旧庄屋名家		—				富田川崎		＊[翰墨一架 有吉鼠弟著]
中村家			①	中村 熊二郎		上士粟屋瑄太郎家来		9		(明治3年37歳 人員録)				
中村家	善右衛門	嗣子	○	善左衛門		船業	13	輝元1				元和年中萩より/寛文8年石高加増		[譜]
	善左衛門 下松町原田忠左衛門妹	長男	①	中村 房光	善兵衛 亮光	船手/中船頭	15二扶持	1~5	70余	1729	享保14年5月25日	鐘楼町西側自南2番 奉公以前御家微賤召仕/正徳5年出仕		[譜] [防長と海/県文書館]
	富田大多和武左衛門 平野町藤井某女	＊長男	②	中村 房周	與右衛門	船手/中船頭	15二扶持	5~7	76	1771	明和8年6月23日	享保14年家督/明和3年隠居		[譜]
	長野村有田七左衛門 長野村有田四兵衛女	＊三男	③	中村 光範	善兵衛 房直 善七 彦助	船手/中船頭	15二扶持	7~8	82	1804	文化元年5月25日	明和3年家督/寛政12年隠居		[譜]
	中村光範 徳山新町戸川仙右衛門女	長男	④	中村 房雄	勘右衛門 與十郎 善左衛門	船手/中船頭	15二扶持	8	64	1817	文化14年12月14日	寛政12年家督/文化5年、12譜録提出		[譜][註4]
	中村房雄 平生町谷屋勘左衛門女	長男	⑤	中村 房彰	類治 文次郎	船手/中船頭	15二扶持	8~9				文化15年家督		[譜][註4]
	中村房雄 平生町谷屋勘左衛門女	二男	—	中村 某	(須万村医師林養伯養子)			8~9				天保2年正月須万村医師林養伯養子		[譜]
	中村房彰 河内弥傳治布高女	長男	—	中村 文次郎				9						[譜]
	中村房彰 河内弥傳治布高女	三男	⑥	中村 房貴	熊之進	下士下等	15→4.7(M5)	9		(明治4年22歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
	中村房彰	四男	—	中村 市之丞				9		(明治4年21歳 分限帳)				
中村家			①	中村 孝造		下士	4.7(明治5年)	9		(明治4年33歳 分限帳)				
中村家			①	中村 秀蔵		上士粟屋瑄太郎家来	15→4.7(M5)	9		(明治4年48歳 分限帳)				
	中村秀蔵	長男	○	中村 多一郎				9		(明治4年18歳 分限帳)				
	中村秀蔵	二男	—	中村 利吉				9		(明治4年13歳 分限帳)				
	中村秀蔵	三男	—	中村 久米吉				9		(明治4年10歳 分限帳)				
	中村秀蔵	四男	—	中村 百合熊				9		(明治4年7歳 分限帳)				
中村家			①	中村 文斎		陣僧後下士下等	切11後11	9						[註4]
中村家			①	中村 岩三郎			3.6(明治5年)	9		(明治5年26歳 分限帳)		福川村		
			—	中村 弥三郎	中村岩三郎弟			9		(明治5年23歳 分限帳)				
中村家			①	中村 義吉				~9		(明治5年65歳 分限帳)				
	中村義吉	嗣子	②	中村 義十郎			3.6(明治5年)	9		(明治5年33歳 分限帳)		富田村平野町		
中村家			①	中村 金右衛門		河合組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年36歳 分限帳)		徳山村北山		
中村家			①	中村 吉次郎		厩組	3.35(明治5年)	9		(明治5年30歳 分限帳)		徳山村北山		
	中村吉次郎	嫡子	○	中村 鉄蔵				—		(明治5年2歳 分限帳)				
中村家			①	中村 実平		河合組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年26歳 分限帳)		徳山村舞車		
中村家			①	中村 正郎(平)	卯兵衛	岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年30歳 分限帳)		徳山村今宿		
			—	中村 勘七	助七 中村卯兵衛伯父			9		(明治5年66歳 分限帳)				

中村家			①	中村 蔵右衛門		煮方	3.35(明治5年)	9			(明治5年37歳 分限帳)	徳山村辻		
中村家			①	中村 音吉			1.8(明治5年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	徳山村辻		
中村家			①	中村 春三郎			1.8(明治5年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	下松町		
中村家			①	中村 治郎			1.8(明治5年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	夜市村		
中村家			①	中村 逸作			1.8(明治5年)	9			(明治5年21歳 分限帳))	徳山村吉屋町		
中村家			①	中村 國松			1.8(明治5年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	富田村		
中村家			①	中村 鉄五郎			1.8(明治5年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	福川村福川町		
中村家			①	中村 太郎一			1.8(明治5年)	9			(明治5年30歳 分限帳)	福川村福川町		
中村家			①	中村 才吉			1.8(明治5年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
中村家			①	中村 幸吉			1.8(明治5年)	9			(明治5年22歳 分限帳)	西豊井村		
中村家			①	中村 弥兵衛		政務局支配	1.8(明治5年)	9			(明治5年64歳 分限帳)	徳山村今宿		
中村家			①	中村 浦衛門		政務局支配	1.8(明治5年)	9			(明治5年65歳 分限帳)	徳山村北山		
	中村浦衛門	嗣子	○	中村 熊吉				9			(明治5年22歳 分限帳)			
中村家			①	中村 秀雄			1.8(明治5年)	9			(明治5年28歳 分限帳)	四熊村		
中村家			○	中村 光太郎		下上四熊小畑村米改良組頭取(明治19年)		9				事務所下上村(明治19年)		[註4]
中村家			○	中村 三代蔵	寛三郎兄			9						[註4]
			○	中村 寛三郎	多々良寛	山崎隊/農民		9	26	1869	明治2年5月11日	富田平野村 函館戦争函館港の役戦死	桧山護国神社/永源山	[註4][註5][註8][註10] [山崎隊日記]
中村家			○	中村 助右衛門		町人		8~9				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
中村家			○	中村 七郎左衛門		町人		8~9				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
中村家			○	中村 甚左衛門		庄屋(享保4年)		3~5				戸田村 矢地村御物成御米銀高一紙(享保4年)		[註4]
中村家			○	中村 伝右衛門		庄屋(文化3年)		8				戸田村		[周南風土記]
中村家			○	中村 吉兵衛		鋳師		9				富田村 都濃郡八矧桂村公会堂半鐘(文久3年鋳造)		[菊川のむかしむかし]
中村家断			断絶	中村 丹七		馬廻	53	不明						[註4]
中村家断			断絶	中村 八左衛門			25	1						[註4]
中村家断			断絶	中村 与右衛門			20	1						[註4]
中村屋			○	中村屋 源右衛門		櫨蝋板場職		9				古屋九兵衛ら8名を藩の板場職に指定(嘉永3年1850)		[註1]
中村屋			○	中村屋 利兵衛		町人 住吉宮石燈籠建立(天保14年)	上下着用	8~9				徳山村 藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1][註4][註8]
中村屋			○	中村屋 助右衛門		酒造業		7				奈古村		[註4]
中村屋			○	中村屋 作右衛門		町人		9				酒場(運上銀払)・運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
中村屋			○	中村屋 吉兵衛		町人		9				酒場(運上銀払)・運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
中村屋			○	中村屋 清九郎		町人		9				古物羅問屋(運上銀払)・運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
中村屋			○	中村屋 源蔵		町人		9				櫨蝋板場(運上銀払)・運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
中屋			○	中屋 藤吉		町人/遠石祭市入札		8						[註4]
中屋			○	中屋 佐代松		町人/遠石祭市入札		8						[註4]
中屋			○	中屋 藤右衛門	(妻石田文助方道長女)	町人		9				遠石町 弘化3年12月13日遠石町商民中屋藤右衛門嫁		[石田家譜録]

中屋			○	中屋 利平次		町人		9				富田古市[周南風土記]		[註4]
												酒場(運上銀払)・運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
中山家			①	中山 貫一			1.8(明治5年)	9				大島村居守		
											(明治5年23歳 分限帳)			
中山家			○	中山 正太郎		山崎隊		9						[註4]
														[山崎隊日記]
中山家			○	中山 忠右衛門	房泰	萩本藩代官		萩						[註1]
												徳山藩改易時宗藩より派遣		
中山家		嗣子	①	中山 惣左衛門	仲山宗左衛門	陶晴賢・江良彈正忠家臣 須々万沼城敗れ毛利服属		—						＊以下中山家文書参考 (中山義文氏所蔵)
	中山惣左衛門	嗣子	②	中山 新右衛門尉	与太郎			—				大向村帰農		
	中山新右衛門尉	嗣子	③	松村 惣左衛門	泰室常安信士	藩雇分下山廻役/町人 近井・近江開作(大津島)		1~2		1681	延宝9年2月14日	大向村・徳山城下糀町 浅江に酒場/妻・無角妙為信女貞享元年(1684)9月24日卒		[註1][註4][註14] [開作御証拠物控]
	松村惣左衛門 無角妙信女	嗣子	④	中山 新六	松村屋徳右衛門 梁峐宗俊居士 逸山 宗俊 屋号古屋	町人 近江(大津島)万屋(栗屋)開作	苗字(正徳5年)	3		1720	享保5年11月28日	徳山本町(幸丁) 徳山藩再興功労者	徳山・本正寺(R2)	[註1][註4][註14][徳山藩史] [開作御証拠物控]
	中山新六 実窓貞眞、春岳珠光信女	嗣子	⑤	中山 善右衛門	古屋 初代伴七 新六二代目 禅海祖源居士	町人	本町年寄	3~5		1745	延享2年11月16日	徳山本町(幸丁) 徳山藩再興功労者/遠石八幡へ石灯籠(正徳4)	徳山・八正寺(R2)	[註1] 感状他東一郎・栄氏蔵[註4]
	中山善右衛門 安室妙寿信女	嗣子	⑥	中山 宗寿	二代目善右衛門 義岳鐵心居士 (妹谷野直貞に嫁1737年)[譜]	町人		3~5		1733	享保18年4月21日	徳山本町(幸丁) 妻・天外智桂享保11.6.20卒/後妻・実習慈貞大姉明和2.9.21卒	徳山・本正寺(R2)	[譜][註4]
	中山宗寿 天外智桂、実習慈貞信女	嗣子	⑦	中山 善右衛門	三代目善右衛門 禅隆義関居士	町人		3~5		1750	寛延3年6月22日	徳山本町(幸丁) 妻・善正院智光寛保2年(1742)11月12日卒大迫田本正寺	徳山・本正寺(R2)	[註4]
	中山善右衛門 善正院智光信女	嗣子	⑧	中山 勝長	三代目惣左衛門 長安自澤居士 (妹谷野直行に嫁1762年)[譜]	酒造業 検断頭/蔵本付(宝暦6年)	二扶持	5~7		1795	寛政7年3月24日	徳山本町(幸丁) 日本酒銘柄『桜川』『千とせ』	徳山・本正寺(R2)	[譜][註3][註4][家来分限帳] [酒家全録]
			—	中山	須達宗玄信士			5		1758	宝暦8年	徳山本町(幸丁)	徳山・本正寺(R2)	
			—	中山 新之丞	本然慧光居士			5~7	25	1778	安永7年6月29日	徳山本町(幸丁)	徳山・本正寺(R2)	
	中山勝長 貞倫慈享大姉	嗣子	⑨	中山 幸左衛門	久遠本成居士	酒造業		5~7		1797	寛政9年10月21日	徳山本町(幸丁) 妻・慈眼本光大姉嘉永2年(1849)1月4日卒大迫田本正寺	徳山・本正寺(R2)	
			—	中山 忠助	覚林了葩居士			7~8		1803	享和3年11月24日	徳山本町(幸丁)	徳山・本正寺(R2)	
	中山幸左衛門 慈眼本光大姉	嗣子	⑩	中山 平右衛門	坂助 泰雲智英居士	酒造業 浜崎綿会所本方頭取役		8		1816	文化13年9月18日	徳山本町(幸丁) 妻・蔵雲智海大姉文化14年(1817)3月16日卒大迫田本正寺	徳山・本正寺(R2)	
			—	中山 勝房	小七郎 伴七二代目 壽峯大量居士 (娘谷野方敬に嫁1797年)[譜]	酒造業(屋号古屋)	長老格・二扶持	7~8		1816	文化13年2月24日	徳山本町(幸丁) 大津島櫨畠開墾(文化8年1811)	徳山・八正寺(R2)	[譜][註1][註3][註4]
	中山勝房	嗣子 [註4]	—	中山 仁作	古屋 民五郎 家岳宗隆居士 (妻谷野光基女 1805年嫁)[譜]	町人/櫨蝋板場 本町屋号籠屋[註4]	長老格 二扶持/帯刀	7~8		1820	文政3年4月7日	徳山・幸丁 文化6年(1809)藩命により、藩営櫨蝋板場の事業を請負う	徳山・八正寺(R2)	[譜][註1][註3][註4][註14]
	中山平右衛門 蔵雲智海大姉	嗣子	⑪	中山 伴七	小七郎 惣左衛門 圓堂全義居士 (妹勝屋正斐1836年嫁[譜])	酒造業/蔵本付	長老格 二扶持/帯刀	8~9	58	1803 1860	享和3年3月18日 万延元年5月7日	徳山・江田丁 文化5年(1808)家督・江田丁古屋家史料あり	徳山・本正寺(家譜)墓碑不明	[譜][註1]
	中山平右衛門 蔵雲智海大姉	嫡子	—	中山 國	福川・福田清右衛門に嫁ぐ 伴七の妹/孫未次りよ(宗太郎妻)			8~9		1852	嘉永5年5月12日	福川 夫・福田清右衛門弘化3年(1846)11月3日卒		
	中山伴七	嗣子	⑫	中山 宗成	宗三郎	徳山第7大区会議事務助	1.77(明治4年)	9	61	1846 1906	弘化3年正月15日 明治39年4月3日	徳山・江田丁 宗成の代に断絶(明治4年1871上申)		
	中山宗成	長男	断絶	中山 宗太郎	末次宗太郎			—				富田 断絶により富田末次家養子		
	中山宗太郎 末次りよ	長男	⑬	中山 東一郎	暁峰 末次東一郎 (妻菅沢文子)	第12代富田町長 中国奉天製麻会社総支配人		—	88	1876 1963	明治9年5月15日 昭和38年8月2日	富田古市 中山家再興/H4新周南新聞自叙伝連載(清木素監修)	徳山・本正寺(R2)	[新南陽市史] 『俺ノ一生回顧録』昭和25年著
	中山宗太郎 末次りよ	二男	—	財満 友蔵	(東一郎実弟) (娘ヨシ子、東一郎養女、栄妻)			—						
	立野房助(富岡村)	＊四男	⑭	中山 栄	雁来 (妻・ヨシ子平成14年4月逝去)	徳山中学16期卒 海軍機関学校/海軍少将	正五位勲三等	—	102	2001	平成13年5月22日	富田古市 戦艦「榛名」機関長	徳山・本正寺(R2)	[註4に史料提供] [徳高物語]
	中山栄 中山ヨシ子玉芳	長男	⑮	中山 義文	(妻・マリア澄江平成29年8月逝去)	徳山中学43期卒/海兵75期 京都大学卒/香港大丸社長		—		1926	大正15年5月16日	富田古市 回天顕彰会監事/中山家奥都城平成16年3月建立		百次郎(毛利元堯公)感状所蔵 中山家史料山口県文書館寄贈
中山家			○	中山 孫右衛門		櫛ケ浜世話人(文化年間)		8				櫛ケ浜		[註4]
中山家	戸倉		○	中山 忠道	戸倉岱助 将監 泰蔵(助) 玉山岱道居士	農業/公家仕官(隠密)		—		1859	安政6年9月30日	富田荘中山・京都 中山大納言忠能仕官/『耕作大益傳』著	明石・浜光明寺	[ふるさとの偉人/周南市教]
	中山忠道(出自謎多し) 室谷民子(忠能奥女中)	嫡子	○	中山 三屋女	宮 三屋子 宮田みや子 探誉智玄大姉 (父戸倉恭輔/叔父戸倉光蔵)	尼僧/桂園派歌人		9	32	1840 1871	天保11年9月25日 明治4年6月21日	加見村大字上村字中山 勤王に通ず/みや子歌集「浮木の亀」編纂発行矢嶋作郎	富田・善宗寺(R5)	[註1][註8][註9][註11] [ふるさとの偉人/周南市教]
	奈古屋貞兵衛廣氏	嗣子	○	(奈古屋) 廣長	大膳亮			—				相模国毛利荘 本姓奈古屋廣元五世孫廣信毛利荘居住毛利改姓後再々改姓		[譜]
	(奈古屋)廣長	嗣子	○	毛利 廣恒	半左衛門尉			—						[譜]
	(奈古屋)廣長	二男	—	毛利 元頼	河内守			—				永禄3年5月桶狭間合戦織田信長麾下戦功有太閤秀賜秀頼		[譜]
			—	毛利 元勝	河内守 彦五郎									[萩藩閥閲録](譜録と相違あり)
	毛利廣恒	嗣子	○	毛利 元堯	加賀守 與三 左近助			元就 輝元				永禄8年3月22日奈古屋改姓		[萩藩閥閲録](譜録と相違あり)

奈古屋家	毛利與三元堯	長男	○	奈古屋 元賀	與七郎 (譜録と相違あり)			輝元	17	1580	天正8年4月14日	備中賀茂戦死		[萩藩閥閲録](譜録と相違あり)	
	毛利與三元堯	二男	①	奈古屋 元忠	対馬守 與三右衛門 九郎右衛門	家老	500(元和年中)	輝元 就隆	64	1640	寛永17年10月23日	本町西側自北8番東向 奈古屋元賀討死後嗣子後浪人、輝元萩討入の節帰参	徳山・無量寺(H30)	[萩藩閥閲録](譜録と相違あり) [譜][註1][註4]	
	毛利與三元堯	女	—	奈古屋 某女	清廣院光誉栄真大姉 奈古屋対馬守妹/光井左馬叔母	就隆公乳母		1		1644	寛永21年3月13日	就隆成長後200石楢崎氏に嫁ぐ/嫡子奈古屋治郎左衛門	二本榎清涼山松光寺	[註3]	
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	長男	②	奈古屋 隆忠	勘兵衛 傳十郎 良心 與三右衛門尉	家老/当職	500	1~2	84	1686	貞享3年正月26日	寛永18年家督/延宝7年隠居		[譜][註1] *[徳山市社寺文化財調査(S59)]	
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	二男	—	奈古屋 隆冬	四郎兵衛 宮寿 (小方与兵衛養子)			1頃				某年小方与兵衛養子		[譜]	
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	三男	—	奈古屋 十兵衛	少輔之助	新知別家(發性院御代)		1				某年出仕		[譜]	
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	四男	—	奈古屋 保宣	→○奈古屋保宣(奈古屋宅栄家)	新知別家後浪人	200(萩大番)	1~2				徳山寺町浪人 寛永年中萩大番出仕後某年内藤和泉守出仕延宝8年内藤家断絶		[譜]	
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	五男	—	奈古屋 隆豊	六左衛門 三左衛門 (後裔ニ奈古屋勝左衛門/行景)	新知別家(發性院御代)	津和野藩					寛文5年出仕/寛文7年亀井能登守(隠岐守)被召出奉公		[譜]	
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	六男	—	奈古屋 勝	弥兵衛 (某年杉山某養子詳細不明)			1						[譜]	
	奈古屋隆忠 萩日野上総介元重女	長男	③	奈古屋 隆充	主水 *雄山宗英居士 (*月窓影覚童子 寛文9年9月12日伝十良 無量寺)	家老	500	1~3	78	1710	宝永7年10月13日	元禄4年隠居*妻桂室浄林大姉宝永4年1.13福田寺無縁墓	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜][註4] *[徳山市社寺文化財調査(S59)]	
	奈古屋隆忠 日野上総介元重女	二男	—	奈古屋 隆吉	→①奈古屋隆吉	新知別家/馬廻		1~2				横本丁南側自東1番 慶安元年出仕/延宝9年6月4日里人を養子		[譜]	
	奈古屋隆忠	三男	—	奈古屋 隆勝	権九郎	發性院小姓役(寛文5年頃)		1						[譜]	
	奈古屋隆忠	七男	—	奈古屋 俊直	忠宅 平八 三四郎 (後裔ニ萩藩奈古屋登忠瑛/與三)	新知別家/萩遠近	五扶持切銭	宗藩				延宝8年萩泰巌院小姓被召出		[譜]	
	奈古屋隆忠 深瀬式部尚良女	八男	—	奈古屋 忠勝	→杉山次俊	永代用人	300	3~5		1738	元文3年4月15日	五代毛利広豊当職[註1]/宝永3年10月3日家督	徳山・大成寺 [註8]	[譜][註1][註4][註8]	
	奈古屋隆充 某女	長男	④	奈古屋 隆芳	玄蕃 隆春 隆房 勘二郎 傳右衛門 與三右衛門 帯刀 (里人の実兄)	家老/当職	600	3~5	88	1745	延享2年7月25日	元禄10年御仕置義銀制度発足/改易見島流罪(享保元年)	徳山・無量寺(H30)	[譜][註1][註4][註14]	
	奈古屋隆充 某女	二男	—	奈古屋 尚慶	長兵衛 長四郎 勘九郎	新知別家/中小姓(天和2年)	35	2				天和2年大陽院御代出仕		[譜]	
	奈古屋隆充 某女	三男	—	奈古屋 里人	→②奈古屋里人	馬廻	120	2~3	71	1671 1741	寛文11年 寛保元年6月19日	京都瑞泉院 徳山無量寺光源院松誉亮圓居士(H30) 延宝9年奈古屋隆吉養子/徳山藩再興指導最大功労者		[譜][註1][註2][註4][註5][註8] [註11][註14]	
	奈古屋隆芳 福間五郎兵衛隆之女	長男	⑤	奈古屋 尭英	伊織 忠勝 忠高 百合之助 勘三郎	家老	500	3~5	26	1722	享保7年6月19日	享保4年於萩家督(徳山藩改易中)	徳山・無量寺(H30)	[譜]	
	奈古屋久吉(隆芳弟) 杉圭弘知女	*二男	⑥	奈古屋 豊昌	主悦 忠昌(正) 彦三郎	家老	500	3~5	20	1729	享保14年12月4日	享保7年養子家督		[譜]	
	杉山三郎左衛門次俊 福間治部右衛門隆良女	*長男	⑦	奈古屋 豊兼	頼母 小平次 宮内 左膳	家老	500	3~6	46	1758	宝暦8年8月9日	享保14年12月上意ニヨリ養子	大迫田八正寺(H30)	[譜]	
	奈古屋豊兼 長濱五郎太夫実重女	二男	⑧	奈古屋 豊敬	蔵人 芳教 繁之丞 子信	家老/当職	500	6~7	51	1743 1793	寛保3年 寛政5年9月17日	宝暦8年家督/学館鳴鳳館創設尽力/追慕の碑(役藍泉作)	大迫田八正寺(H30)	[譜][註1][註5][註9][註11][註16]	
	粟屋豊章 杉山丹下豊俊姉	*四男	離縁	奈古屋 馴正	(粟屋家より一時豊敬養子) 粟屋馴正實明院徹心道清居士			7~8		1836	天保7年9月29日	奈古屋蔵人養子(天明6年12月～寛政5年10月)	徳山・福田寺(R3)	[譜] (一部資料により相違あり)	
	奈古屋豊敬 河手某女	二男	⑨	奈古屋 壽惇	惟親 親惇 壽惟 内蔵 文之進 外記	家老/当職	500	8~9	62	1848	嘉永元年8月8日	寛政7年家督/天保5年隠居/文化5年譜録提出	大迫田八正寺(H30)	[譜][註1][註4]	
	奈古屋壽惇 粟屋丹宮馴郷女	長男	⑩	奈古屋 壽包	敏敬 壽猷 雅楽 虎之助	家老/当職	500	8	30	1837	天保8年8月14日	天保5年家督/死後蕃嘏養子	徳山・無量寺(H30)	[譜][註1]	
	粟屋壽候 富山勘解由馴正女	*	⑪	奈古屋 蕃嘏	新十郎 篤嘏 嘏 百合祐 勘兵衛 鼎 新吉郎 粟屋靭負壽温弟	家老/当職	500	9	76	(明治4年54歳 分限帳) 1893	明治26年12月30日	本丁 天保11年家督/遠石八幡宮石灯籠/嘉永2年譜録提出	徳山・無量寺(H30)	[譜][註1][註4]	
	奈古屋蕃嘏 後妻	長男	⑫	奈古屋 裕	誠之進 春之進	上士	150→41.5(M5)	9		1847 (明治4年25歳 分限帳)	年令から逆算	父蕃嘏は1845年離婚/明治3年譜録提出		[譜][註4]	
	奈古屋蕃嘏 後妻	二男	—	中原 元簡	翰之			9		1862	文久2年8月15日		徳山・無量寺(H30)	[譜]	
奈古屋家断	奈古屋隆忠 日野上総介元重女	二男	①	奈古屋 隆吉	勘左衛門 宗豊 (母→日野元重)	馬廻		1~2				横本丁南側自東1番 慶安元年出仕/延宝9年6月4日里人を養子		[譜]	
	奈古屋隆充 某女	*三男	②	奈古屋 里人	万碓 弁之助 与一郎 中原松軒 尚軒 (勘)左衛門 左門 知足軒 松雪軒	馬廻	120	2~3	71	1671 1741	寛文11年 寛保元年6月19日	京都瑞泉院 徳山無量寺光源院松誉亮圓居士(H30) 正徳5年8月5日断絶/徳山藩再興指導最大功労者		[譜][註1][註2][註4][註5][註8] [註11][註14]	
		*	断絶	奈古屋 里智	人形屋三左衛門 余一郎			3				横本丁南側自東1番正徳5年引払 徳山藩再興後養子縁切断絶、里人京都へ		[譜]	
	奈古屋隆充 下松町石田理兵衛女	二男	①	奈古屋 久吉	尚慶 文助 勘兵衛 長兵衛 與治兵衛	馬廻	50	2~5	87	1747	延享4年7月25日	西町東側自北10番西向 天和2年出仕/徳山藩再興功労者		[譜][註1][註4]	
	奈古屋久吉(隆芳弟) 杉圭弘知女	*二男	—	奈古屋 豊昌	→⑥奈古屋豊昌	家老	500	3~5	20	1729	享保14年12月4日	享保7年奈古屋尭英養子家督		[譜]	
	大野卜意通光 杉圭弘知女	*長男	②	奈古屋 維章	常右衛門 段亮 小市右衛門 雲八 梅翁	馬廻	50	5~7	81	1790	寛政2年5月6日	久吉養子元文5年代役/天明3年隠居		[譜]	
	奈古屋維章 本城恒光女梅	長男	③	奈古屋 維貞	虎次郎 金吾 登 全治 勘七	馬廻	50	7	41	1796	寛政8年8月14日	明和6年中小姓出仕/天明3年家督		[譜]	
	奈古屋維章 本城恒光女梅	二男	—	奈古屋 維則	維周 右門 亀三郎			7				安永4年2月27日萩家来名古屋九郎右衛門育後永暇		[譜]	

奈古屋家

奈古屋家	岡七蔵栄房 下松町中嶋又左衛門女	＊三男	④	奈古屋 方昌	栄助 周方	馬廻 制作方御目付役(天保2年)	50	7~9	57	1839	天保10年7月6日	寛政8年養子家督/文化12年譜録提出		[譜][註4]
	奈古屋方昌 奈古屋維貞女	長男	⑤	奈古屋 栄	宣智 常吉	中士上等	50→14.1(M5)	9		(明治4年43歳 分限帳)		西ノ丁 天保10年家督/天保14年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	奈古屋栄 三田尻藤井弥五左衛門女	長男	⑥	奈古屋 文治	雪崖	小学校教員/郵便局長		9		(明治4年12歳 分限帳)		二番町 書道師範/累世合葬之墓建立	徳山・無量寺(H30)	[譜] [翰墨一架]
	奈古屋栄 三田尻藤井弥五左衛門女	二男	—	奈古屋 武治				9		(明治4年6歳 分限帳)				[譜]
	奈古屋栄	三男	—	奈古屋 栄三郎				—		(明治4年1歳 分限帳)				
奈古屋家	奈古屋対馬守元忠	四男	○	奈古屋 保宣	武左衛門 掃部 乙寿	新知別家後浪人	200(萩大番)	—				徳山寺町浪人 寛永年中萩大番出仕後某年内藤和泉守出仕延宝8年内藤家断絶		[譜]
	奈古屋武左衛門保宣 某女	嫡子	①	奈古屋 宅栄	忠助 勘三郎 弥一兵衛 木林氏	馬廻	80	3~5	87	1750	寛延3年3月19日	馬場東町北側自西2番 元禄5年出仕/正徳3年改姓木林享保元年改姓奈古屋	徳山・無量寺(H30)	[譜][註4]
	河合伴蔵宗實 富山清右衛門隆明妹	＊五男	②	奈古屋 栄淑	弥一兵衛 熊七	馬廻	80	5		1756	宝暦6年3月11日	享保元年2月13日養子/享保19年家督	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	奈古屋栄淑 中村平太夫直常女	長男	③	奈古屋 栄孝	弥一兵衛 八十熊 忠助	馬廻(江戸目付役)	80	5~7	54	1788	天明8年6月19日	宝暦6年家督/江戸目付役在勤中死去	徳山・無量寺(R2)	[譜]
	奈古屋栄淑 中村平太夫直常女	二男	—	奈古屋 宗虎	→河合馴規	一代用人	150	6~7	56	1801	寛政13年正月19日	宝暦8年河合伴蔵糺養子同12年家督	徳山・八正寺(H30)	[譜]
	奈古屋栄孝 今田久左衛門女	長男	④	奈古屋 栄将	忠助 忠三郎 平治郎 弥十郎	馬廻(大阪留守居役)	80	7~8	41	1804	文化元年10月7日	天明8年家督/大阪蔵屋敷留守居役在勤中死去	徳山・無量寺(R2)	[譜]
	奈古屋栄将 長沼立孝之鑑妹	長男	⑤	奈古屋 栄郁	衛 栄之助 一作	馬廻	80	8				文化元年家督/文化5年御咎隠居/文化5年譜録提出		[譜]
	奈古屋栄将 長沼立孝之鑑妹	＊二男	⑥	奈古屋 栄全	真三郎 弥吉 富之助 忠助	馬廻	75	8		1836	天保7年5月14日	文化5年家督/天保8年御咎隠居/文化12年譜録提出	徳山・無量寺(H30)	[譜][註4]
	杉山壽布 粟屋丹宮馴郷女	＊二男	⑦	奈古屋 栄貞	弥一右衛門 彦太郎 文之進 小角 九一郎	馬廻	75	9		1855	安政2年8月8日	二番丁 天保8年養子/嘉永2年譜録提出	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	奈古屋栄貞 六代栄全女	二男	⑧	奈古屋 栄行 ☆	琥太郎 左仲 (奈古屋栄貞長男早世)	馬廻後中士上等	75後50→14.1	9		(明治4年25歳 分限帳)		安政2年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
奈古屋家			⑨	奈古屋 英馬	石碑に9世とある			—				石碑大正2年8月建立・隣の墓碑正夫明治41年3月4日没	大成寺共同墓地(R2)	
奈古屋家断			断絶	奈古屋 左門		馬廻	120	1						[註4]
奈古谷家			○	奈古谷 権九朗	＊久叟信良信士			1		1665	＊寛文5年6月6日		＊興元寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
奈古屋家断			断絶	奈古屋 伝十郎	＊月窓影覚童男		100	1		1669	＊寛文9年9月12日		＊無量寺	[註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
奈古屋家			○	奈古屋蕃樹				—		1904	明治37年10月14日		興元寺	
			○	奈古屋駿雄				—		1912	大正元年12月26日		興元寺	
夏目家			①	夏目 國蔵			1.8(明治5年)	9		(明治5年36歳 分限帳)		西豊井村		
楢崎家	楢崎彦左衛門信景	嗣子	○	楢崎 元兼	弾正忠			宗藩						[譜]
	楢崎元兼	嗣子	○	楢崎 元好	與兵衛			宗藩				妻あつ就隆乳母姪/後就隆養乳母ニ被付置候		[譜][註3]
	楢崎與兵衛元好 光井元相女あつ	三男	①	奈古屋 隆次	三郎兵衛 二郎兵衛 大学	中小姓	25	1~2		1683	天和3年正月5日	某年出仕後暇願浪人東豊井村居住/一生奈古屋姓		[譜][註3]
	楢崎隆次 河内村某女	長男	②	楢崎 景宣	源内	中小姓	25	3~5	83	1750	寛延3年7月4日	楢崎改姓/元禄15年再興/某年隠居		[譜][註4]
	楢崎景宣 西立寺栄雲女	長男	③	楢崎 則貞	與右衛門 長七 右仲 右平治	中小姓	25	5~7	73	1772	明和9年8月2日	某年家督/明和3年隠居		[譜]
	野村茂右衛門義厚 徳山町重屋市右衛門女	＊二男	④	楢崎 正章	小文治 與十郎 忠次	中小姓	25	7	46	1796	寛政8年10月8日	西町下横町南側自東1番 宝暦13年養子/明和3年9月家督/7回結婚	江戸にて死去	[譜]
	野村信厚 棟居又右衛門景丈妹	＊二男	退身	楢崎 暁正	金治 亀三郎	中小姓	25	7~8				寛政6年正章養子/享和3年退身		[譜]
	児玉斎宮忠順 粟屋蔵主豊躬女	＊二男	退身	楢崎 正嗣	斗作 忠敦	中小姓	25	8				文化元年2月15日家督同13年10月27日御咎退身		[譜][註4]
	礒部増章 芸州石田雅八品泰女	＊二男	⑤	楢崎 誠美	半之丞 清弥 範之丞 迪恂 光江 翠山 翠嶺 竹屋	中小姓/歌人	25	8~9		(明治3年77歳 人員録)		東中町西側自北6番 文化14年家督/文政5年隠居/飯田竹舎に学び出藍、連歌の名手	徳山・八正寺 [註8]	[譜][註1][註8][註9][註11] [註14]
	楢崎誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	長男	—	楢崎 堅司	彬 茂吉郎 美衛 驪之介			9		(明治3年48歳 人員録)				[譜]
	楢崎誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	二男	—	楢崎 景雄	→⑧楢崎景雄	中小姓	25	9				嘉永7年家督		[譜][註4]
	楢崎誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	三男	—	楢崎 斯久 ☆	→磯部斯久☆	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	9		(明治4年41歳 分限帳)		嘉永4年磯部斯韮跡家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	楢崎誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	四男	—	楢崎 應	恭蔵 民弥 又兵衛 碧渓 陶斎 子文 遂 →玉井應(後楢崎姓)	書道家		9	60	1901	明治34年8月27日	牧香松、中村春秀後学館最後の書道教師/「文章会」同人	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註1][註8][註9][註11]

	楢崎翠嶺誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	五男	—	楢崎 保義 ☆	→楢崎保義	馬廻後中士上等 献功隊	50→14.1(M5)	9		(明治4年36歳 分限帳)	鐘楼丁西側上角 安政2年養子同3年家督/明治3年譜録提出	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] [山崎隊日記]
	楢崎誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	六男	—	楢崎 秀温 ☆	文蔵 勝弥 (楢崎應に弟由助あり[註8])	学館習書場助教(万延2年)		9					[譜][註4]
	水津正令 山田仁右衛門正明女	＊三男	⑥	楢崎 景治	建蔵 定太	中小姓	25	8	19	1825 文政8年正月18日	文政5年家督		[譜]
	桜井知雄 福根孝右衛門常至女	＊三男	⑦	楢崎 景善	官吾 雄要 岩吉 嘉忠太 雅司	中小姓	25	9			二番丁 文政8年家督/嘉永7年隠居/嘉永2年譜録提出		[譜]
	楢崎誠美 磯部九郎左衛門安禎妹	＊二男	⑧	楢崎 景雄	次(二)郎兵衛 景長 孝治 益雄	中小姓	25	9			嘉永7年家督		[譜][註4]
	楢崎景雄	嫡子	⑨	楢崎 景織	糸織	中士下等	25	9		(明治4年43歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
		＊	⑩	楢崎 由助	楢崎應弟[註8]		10.2(明治5年)	9	55	(明治4年30歳 分限帳) 1896 明治29年2月27日		大成寺共同墓地(H30)	
楢崎家			○	楢崎 墳	又兵衛 心光不空居士			3		1716 正徳6年6月10日		徳山・福田寺(R3)無縁墓	[徳山市社寺文化財調査(S59)]
楢崎家	萩領家来		○	楢崎 豊久	市之丞			7~			寛政7年養子願		[岡部家譜]
	岡部忠恕 堀田弥一右衛門正敷女	＊二男	○	楢崎 豊文	八郎			7~8					[岡部家譜]
楢崎家断			断絶	楢崎 小右衛門		徒士	20	不明			東中町西側自北9番後井村家		[註4]
楢崎家断			断絶	楢崎 甚七		徒士	20	3					[註4]
楢崎家断			断絶	楢崎 源兵衛			100	1					[註4]
鳴海家			①	鳴海 與市			1.8(明治5年)	9		(明治5年25歳 分限帳)	馬島		
難羽家			○	難羽 浦右衛門		庄屋(文化3年)		8			野島		[周南風土記]
難波家			○	難波 通長	孫兵衛			—			寛永年間富田政所に住む 祖伊予国難波村居住		[譜]
	難波通長	長男	○	難波 長成	三右衛門尉			—					[譜]
	難波通成	長男	○	難波 通正	孫六			—					[譜]
	難波通正	長男	①	難波 通直	芦右衛門 治右衛門 平右衛門 改易萩居住中吉原姓再興後難波姓	蔵本付	15	3~5		1746 延享3年8月28日	西新町東側自北15番西向 奉公以前御家微賤召仕/正徳年中出仕		[譜]
	難波通直 遠石町久光清右衛門妹	長男	②	難波 勝正	庄兵衛 新五郎	蔵本付	15	5~7	55	1766 明和3年正月20日	延享3年家督		[譜]
	難波勝正 野津甚兵衛信暁妹	長男	③	難波 邑正	慶蔵 庄八 保助	蔵本付	15	7	37	1790 寛政2年正月3日	明和3年家督		[譜]
	難波勝正 野津甚兵衛信暁妹	二男	—	難波 通強	→河野通強	蔵本付	15	7	37	1791 寛政3年1月4日	安永4年河野通尚養子		[譜]
	村上常政 戸倉弥一郎姉	＊二男	④	難波 通信	岩太 信正 峯次郎 (実父母難波家譜録誤記)	蔵本付	15	7~8	54	1832 天保3年5月22日	寛政2年養子		[譜][註4]
	難波通信 徳山村徳原勘兵衛養女	長男	⑤	難波 通恒	要之進 昱之進	徒士後下士上等 藩知事時代正権少属	20→5.7(M5)	8~9		(明治4年59歳 分限帳)	嘉永2年、明治3年譜録提出		[譜][註4]
	難波通信 徳山村徳原勘兵衛養女	二男	退身	難波 巳之吉	→岡村信通			9			天保8年6月岡村谷助信正養子		[譜]
	難波要之進 徳山村光永善右衛門妹	二男	⑥	難波 通貞 ☆	邦衛 通明			9		(明治4年25歳 分限帳)			[譜][註4]
(坂家) 新見家	片山七右衛門宗善 備後国宮十兵衛忠重女	嗣子	○	新見 直重	七右衛門 坂直重	徒士	20	1~3	66	1690 元禄3年7月15日	奉公以前桂美作育/寛永末期出仕/天和年中改姓新見		[譜]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	長男	—	坂 経之	七右衛門 本家坂(新見)直重家督	中小姓	25	3~5	86	1742 寛保2年10月2日	東端町西側自北10番 元禄3年家督/正徳4年改姓坂/元文3年隠居	大迫田一族墓所(R1)	[譜][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	二男	—	坂 常政	→安田常正	馬廻	75	3~5	85	1747 延享4年9月10日	元禄7年安田保包家督/徳山藩再興功労者		[譜][註1][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	三男	—	坂 勝之	→岡勝之	中小姓	35	2~3	37	1705 宝永2年10月21日	延宝7年岡宗運養子		[譜]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	四男	①	新見 昌之	喜右衛門 一斎 西江玄水清信士	新知別家/茶道	現米10三扶持	2~5	68	1734 享保19年7月19日	東中町東側自北16番 延宝8年出仕/享保16年隠居	徳山・泉原共同墓地(R2)	[譜][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	五男	—	坂 宗重	→岡宗重	馬廻	60	2~5	61	1733 享保18年5月21日	東端町西側自北13番 貞享元年岡宗増養子家督		[譜][註4]
	新見(坂)七右衛門直重 富田村郷士山崎和泉忠房女	六男	—	坂 経重	弥七 弥八郎	新知別家/徒士/祐筆	20	3~5		1756 宝暦6年2月15日	元禄3年出仕/嗣子傳蔵宝暦3年死去養子無く断絶		[譜]
	新見昌之 山縣九郎兵衛女	長男	②	新見 雅宴	喜右衛門 喜平次	中小姓	43	5~7	82	1775 安永4年8月14日	享保16年家督/明和3年隠居		[譜]
	新見昌之 山縣九郎兵衛女	二男	—	新見 勝宴	→岡勝宴	中小姓/江戸番手		5~6		1759 宝暦9年7月24日	某年岡三郎右衛門勝重養子		[譜]

	新見昌之 山縣九郎兵衛女	三男	—	新見 當清	→景山浅右衛門			5				享保12年8月景山浅右衛門當明養子		[譜]
	新見雅宴 須万村鶴岡市十郎女	長男	③	新見 雅堅	九蔵	中小姓	43	7	38	1783	天明3年3月4日	明和3年家督		[譜]
	相川荻右衛門直堅 新見雅宴女	＊二男	④	新見 雅清	市平次	中小姓	43	7	21	1790	寛政2年4月20日	天明3年家督		[譜]
	相川荻右衛門直堅 新見雅宴女	＊三男	⑤	新見 雅英	源次郎 貞良 篤信	中小姓	43	7	22	1796	寛政8年6月17日	寛政3年家督		[譜]
	熊毛郡秋本養軒弼良 某女	＊二男	⑥	新見 昌茂	林景	中小姓	43	7~8	46	1816	文化13年9月1日			[譜]
	杉原政常 難波庄兵衛勝正女	＊二男	⑦	新見 雅篤	對助 喜右衛門 源次 金吾 江村小助忠公養弟	中小姓	43	7~8	56	1824	文政7年10月17日	文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	新見雅篤 藤井畑助常昌女	長男	⑧	新見 雅敬	孫右衛門 喜一郎 (妻右田村福嶋茂助重久女)	中小姓	43	8~9	39	1845	弘化2年8月15日	文政5年家督		[譜]
	新見雅篤 藤井畑助常昌女	二男	—	新見 倫秀	斗吉			9						[譜]
	新見雅篤 藤井畑助常昌女	＊三男	⑨	新見 新伍	叔也 喜内 雅括	中小姓後中士下等 蚕種製造鴻之峰組(明治8年)	43	9		(明治5年53歳 分限帳)		二番丁 養蚕で受賞(明治7年)/嘉永2年、文久3年譜録提出		[譜][註1][註4]
	新見雅敬	長男	—	新見 行立 ☆	厚衛	御雇		9				安政5年江戸無念流剣術稽古中殿様御供		[譜]
	新見雅敬	二男	—	新見 雅永	累司	御雇		9				文久2年江戸無念流剣術稽古中殿様御供		[譜]
			—	新見 速雄	(新吾弟[分限帳])	山崎隊		9	29	1842 1870	天保13年2月14日 明治3年2月9日	二番丁 元蕃公の前衛を務める/脱退事件右田村にて戦死		[註10] [防長風土記]
	新見新伍 大島村石田治左衛門種重女	嗣子	⑩	新見 佾馬	昌為 (新吾嗣子[分限帳])		12.2(明治4年)	9		(明治5年18歳 分限帳)		二番丁		[譜]
			⑪	新見 正巳	高顕院節翁正然居士	中小姓後中士	25→7.1(M4)	9	50	(明治4年36歳 分限帳) 1885	明治18年11月22日	三番丁 妻セキ天壽院貞心賢操大姉昭和6年5月30日没	徳山・福田寺(R3)墓誌	[註10]
	新見正巳	長男	⑫	新見 喜三	自光院秋岳知性居士 妻ツネ自徳院常安妙道大姉S20没71	鉄道測量技師/台湾に貢献		—	73	1874 1946	明治7年8月 昭和21年10月13日	三番丁 昭和11年速雄の遺族として名あり(徳山市役所)	徳山・福田寺(R3)累世之墓	[註10] (児玉神社「狛犬」昭和6年)
	新見喜三	長男	⑬	新見 正喜	徳寿院禅岳喜仙居士 (妻陸軍大将松木直亮長女恒子)	京都府立医科大/医学博士 大和学園大学教授		—	99	1903 2001	明治36年9月27日 平成13年4月25日	東京大田区田園調布 妻徳光院正室恒順大姉平成6年1月30日卒84歳	徳山・福田寺(R3)墓誌	[註10]
新見家断			断絶	新見 弥七		徒士	20	3						[註4]
西岡家			○	西岡 利右衛門		植付方算用役(宝暦8年)		5~6						[註4] [地山方日記]
西家			○	西 太郎左衛門		徳山藩義冒隊		9		1866	慶応2年4月26日	倉敷暴動事件雷同・徳山断頭場にて自殺		[註10]
西田家	奈古村西田某 某女		①	西田 俊定	金右衛門	蔵本付	15	3~5	70余	1756	宝暦6年3月12日	佐伯与右衛門屋敷跡外片側町自北1番東向 奉公以前奈古村農民/宝永5年家督/宝暦5年隠居		[譜]
	西田俊定 某女	長男	—	西田 俊兼	久右衛門 林蔵 林斎	新知別家/陣僧	11	5				享保8年於江戸出仕/延享元年6月26日御咎暇断絶		[譜]
	西田俊定 某女	二男	—	西田 俊清	林右衛門 小内	御雇当職方筆者役		5				延享4年4月24日嫡子願出仕		[譜]
	徳山村下村七右衛門 某女	＊二男	②	西田 俊常	直七 俊盛 清八 惣右衛門	蔵本付	15	5~7	51	1787	天明7年9月4日	宝暦3年養子同5年家督	於江戸死去	[譜]
	西田俊常 佐波郡宮市本村小兵衛女	長男	③	西田 俊勝	力蔵 助四郎	蔵本付	15	7~8	56	1829	文政12年8月15日	天明7年家督/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	西田俊常 佐波郡宮市本村小兵衛女	二男	—	西田 苗	→小林苗恵 苗長男苗清小林家家督他男あり	持弓 五ケ村算用役(天保7年)	15	8~9	74	1856	安政3年8月14日	享和2年小林忠治盛忠養子/弘化元年4月24日咎断絶		[譜][註4]
	西田俊勝 渡邊市郎左衛門武妹	二男	④	西田 俊明	平右衛門 虎之助 敏太 實右衛門	徒士 藩知事時代正権少属	20	8~9		(明治4年67歳 分限帳)		文政12年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	西田俊明 藤井正左衛門教恭女	長男	—	西田 俊文	峯吉	新知別家/蔵本付	15	9				弘化4年筆者見習被召出/嘉永3年江戸番手出仕		[譜]
	西田俊明 藤井正左衛門教恭女	二男	⑤	西田 俊繹	鋤右衛門 熊之進	下士下等 藩知事時代正権少属	15→4.7(M4)	9		(明治4年37歳 分限帳)		安政6年長門様御雇御徒番所詰/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	西田俊繹	嫡子	○	西田 農夫太郎				—		(明治4年4歳 分限帳)				
西田家			○	西田 豊輔		村会議員		—						[註1]
西林家			○	西林 太郎		長穂村長		—				長穂村		[註1][註4]
西藤家			○	西藤 等閑[註1]	西藤等聞[註14][徳山市教育の歩み] (orさいとう)	僧/寺小屋(読書習字)		9				粭島 寺小屋明治元年6月～男18女5		[註1][註14] [徳山市教育の歩み]
	徳山村某女		①	西村 善政	清左衛門 彦六	持弓	15	3~5	70	1749	寛延2年6月1日	元文5年11月隠居		[譜][註4]
	西村清左衛門善政 久米村某女	長男	—	西村 佳政	→①西村佳政	持弓	15	5~7	62	1778	安永7年3月14日	宝暦8年2月24日御咎め隠居		[譜]
	煮方・文七 徳山村仁左衛門女	＊長男	②	西村 善征	清蔵	持弓	15	5~7	72	1792	寛政4年12月13日	寛政元年5月隠居		[譜]

西村家	西村清蔵善征 下松町西教寺姪	長男	一	西村 正格	→①西村正格	新知別家/持弓	15	7	24	1773	安永2年4月7日	明和7年出仕		[譜]
	西村善征 下松村西教寺姪	三男	③	西村 盛房	五平治 友八	持弓	15	7~8				文化2年2月20日隠居		[譜]
	西村盛房 大向村長嶺五郎右衛門妹	長男	断絶	西村 善房	清次郎	持弓/算用役(天保元年)	15	8~9				安政2年御咎め/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	西村善房 大向村長嶺平助女	嫡子	④	西村 善利	新右衛門 嘉巳 (妻豊井村藤田茂左衛門女)	持弓	15	9		(明治4年43歳 分限帳)		慈悲有之三代跡継		[譜][註4]
		＊	⑤	西村 次郎		下士下等	15→4.7(M4)	9		(明治4年23歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
西村家	西村清左衛門善政 久米村某女	長男	①	西村 隹政	與一左衛門 平九郎	持弓	15	5~7	62	1778	安永7年3月14日	宝暦8年2月24日御咎め隠居		[譜]
	水木重善 都濃郡桐山村某女	＊三男	②	西村 政長	傳蔵 新蔵 治兵衛 水木伊兵衛師行弟	持弓	15	6~7				宝暦8年養子家督/明和2年4月20日隠居		[譜]
	西村善政 嶋田村某女	＊長男	③	西村 正珍	與一右衛門 金左衛門 久右衛門	持弓	15	7	66	1797	寛政9年2月26日			[譜]
	藤村嘉兵衛政晴 玉井弥一右衛門盛道女	＊三男	④	西村 政春	與一左衛門 茂作 政経	持弓	15	8~9	82	1852	嘉永5年正月21日	寛政9年4月23日家督/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	西村政春 西村正珍女	二男	⑤	西村 政倫	正倫 金司 松之助 與三兵衛 素左衛門	持弓	15	9				天保13年家督/扱心流柔術取立方見合/嘉永2年譜録提出		[譜][註4][註5]
	西村政春 徳応寺養女	＊六男	⑥	西村 政捷	又四郎 真多四郎 総七郎 命敷	下士下等 藩知事時代史生	15→4.7(M4)	9		(明治4年41歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
西村家	西村清蔵善征 下松町西教寺姪	長男	①	西村 正格	好太郎	持弓	15	7	24	1773	安永2年4月7日	明和7年出仕		[譜]
	勝屋仁兵衛正中 藤岡與一左衛門女	＊二男	②	西村 正直	政直 平助 友之允	持弓	15	7	42	1792	寛政4年10月15日	安永3年家督		[譜]
	西村正直 西村清蔵善征二女	長男	③	西村 正唯	勘左衛門 市之助 源右衛門	持弓	15	7~9	74	1849	嘉永2年7月10日	寛政5年家督/弘化元年隠居/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	西村平助正直 西村清蔵善征二女	二男	一	西村 助次郎	→勝屋正舊	茶道	現米5三扶持	8~9		1858	安政5年10月24日	岡本喜熊跡 東端町東側自北12番	徳山・福田寺(R3) 寛政12年勝屋家家督	[譜][註4]
	西村正唯 西田助四郎俊勝女	長男	④	西村 正良	仁左衛門 芳助	持弓	15	9		(明治3年62歳 人員録)		弘化元年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	西村勘左衛門正唯 浅田某女	二男	一	西村 貞信	→小倉貞信	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9		(明治4年61歳 分限帳)		二番丁 元治元年江戸藩邸没収時幽囚/天保9年小倉家養子		[譜][註4][註16]
	西村正良	嗣子	⑤	西村 仁一郎	正志	持弓後下士下等	15→4.7(M4)	9		(明治4年15歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜]
	西村正良	嫡子	一	西村 保次郎				9		(明治4年12歳 分限帳)				
西村家			①	西村 治郎左衛門				8~9		(明治4年64歳 分限帳)				
	西村治郎左衛門	嗣子	②	西村 瑕治		上士鳥羽鎚之丞家来	15→4.7(M4)	9		(明治4年34歳 分限帳)				
西村家			①	西村 米左衛門		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9		(明治5年49歳 分限帳)		徳山村代々小路		
	西村米左衛門	長男	○	西村 勝二郎				9		(明治5年16歳 分限帳)				
	西村米左衛門	二男	一	西村 保熊				—		(明治5年4歳 分限帳)				
西村家			①	西村 作兵衛		岩崎幾太郎組上等		9		(明治3年35歳 人員録)				
西村家			①	西村 與茂助			4.7(明治4年)	9		(明治5年37歳 分限帳)		徳山村代々小路		
西村家			①	西村 利吉		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9		(明治5年26歳 分限帳)		徳山村代々小路		
西村家			①	西村 潤内		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年44歳 分限帳)		徳山村北山		
	西村潤内	長男	○	西村 梅吉				9		(明治5年10歳 分限帳)				
	西村潤内	二男	一	西村 儀之助				—		(明治5年4歳 分限帳)				
西村家			①	西村 熊右衛門		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年43歳 分限帳)		徳山村北山		
	西村熊右衛門	嫡子	○	西村 茂作				—		(明治5年4歳 分限帳)				
西村家			①	西村 来次郎		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治5年53歳 分限帳)		徳山村北山		
	西村来次郎	長男	○	西村 森兵衛	森蔵		3.35	9		(明治5年22歳 分限帳)		徳山村北山		
	西村来次郎	二男	一	西村 美代熊				9		(明治5年17歳 分限帳)				

	西村来次郎	三男	—	西村 常吉				9						
											(明治5年7歳 分限帳)			
西村家			①	西村 岩右衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9				徳山村代々小路		
											(明治5年81歳 分限帳)			
西村家			○	西村 萬蔵		足軽		9				舞車		
														[田畠向諸願控]
西村家			○	西村 東八	東兵衛	庄屋(文化)		8~9				舞車		
														[田畠向諸願控]
			○	西村 六郎右衛門		庄屋(享和)		8~9				舞車		
														[田畠向諸願控]
西村家			○	西村 理右衛門	→西村利右衛門	町人		8~9						[註1]
												藩へ上納銀、借銀の債主として記載(天保末年現在)[註1]		
西村家			○	西村 利右衛門		大年寄 代々生蝋業/農業		8~9				奈古村		[註4][註10]
												御借銀方惣高並己巳暮利且御払辻[徳山毛利文庫]		
	西村利右衛門	嫡子	○	西村 三四郎	五一 熊谷五一 義右 碧崖 春崖 芸傭 禹王棚叟	従五位		9	60			奈古村		[註10]
										1882	明治15年11月21日	萩藩御用達熊谷五右衛門中継養子		
	西村利右衛門	三男	○	西村 礼作		衆議院議員 防長銀行設立者の一人		—	81	1863	文久3年6月8日	奈古村		[註10]
										1943	昭和18年3月8日			
	西村利右衛門	五男	○	西村 十郎	→岡十郎	慶応義塾/酒造業/県会議員 東洋捕鯨社長/日本捕鯨の父		—	54	1870	明治3年6月29日	奈古村		
										1923	大正12年1月8日	岡吉輔養子/社章利旗印「一〇」/捕鯨船第一長州丸		
	西村礼作	長男	○	西村 圭太郎		藤田組・藤田興業取締役 藤田鉱山会長		—		1888	明治21年1月5日			[註10]
西村家			○	西村 文作		実業家		—				徳山藩領阿武郡奈古村		
	西村文作	長男	○	西村 有作		水産業界 現東京都市大学初代理事長		—		1891	明治24年9月			[註10]
	西村文作	八男	—	西村 十郎	(妻医学博士青柳登一二女光江)	東京高等工芸学校 実業家		—		1907	明治40年7月20日			[註10]
西村家			○	西村 図右衛門		米改良組合委員(明治20年)		—						[註1]
西村家			○	西村 英三		都濃郡櫛ケ浜村戸長 (明治12年)		—				都濃郡櫛ケ浜村		[註4]
西村家			○	西村 養仙		医師		宗藩				徳地村		[和田家譜録]
												長男和田正常養子和田常貞		
西村屋			○	西村屋 小兵衛		町人		8				富田新町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
西村屋			○	西村屋 忠助		町人		8				富田新町		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
西村屋			○	西村屋 弥兵衛		制産社売締方(明治5年)		9						[註4]
西山家			①	西山 直正	礒右衛門 礒助	蔵本付	15	7	84			馬場外町西側自北1番東向		[譜]
	伊保庄医師西山養庵女									1795	寛政7年6月8日	安永10年出仕/寛政2年2月15日隠居		
	西山某	*	②	西山 直信	新蔵	蔵本付	15	7						[譜]
	徳山村伊豆倉与左衛門女											寛政2年家督/寛政9年2月隠居		
	来巻村木村氏	*	③	西山 直道	儀右衛門 礒八 木村源十郎弟	蔵本付/算用役	15	8~9					大成寺 [郷土史7号]	[譜][註4(文化5、13年譜録提出)
	瀬戸村内富喜右衛門女											寛政9年家督/女13歳文政5年大成寺墓地句碑		[徳山地方郷土史7号]
	西山直道	長男	④	西山 直儀	蔵太 倉吉 嘉十郎	蔵本付	15	9	52					[譜]
	徳山商民西山茂十郎女									1857	安政4年正月24日	弘化5年正月家督/安政2年隠居		
	徳原六右衛門	*	⑤	西山 直昌	常右衛門	蔵本付	15	9	62					[譜]
	兼重某女									1860	万延元年8月24日	安政2年家督同4年隠居		
	福谷藤次郎	*	⑥	西山 直信 ☆	真衛門 久米平 真之助 常定	蔵本付後下士下等	15→4.7(M4)	9						[譜][註4]
	友沢某女										(明治4年34歳 分限帳)	安政4年家督/明治3年譜録提出		
西山家			○	西山 素左衛門				9						[註1]
												扱心流柔術師範『文武諸芸術稽古日控』文久元年(1861)		
西山家			①	西山 森之丞			1.8(明治4年)	9				野島		
											(明治5年21歳 分限帳)			
西山家			○	西山 織右衛門				8~9					徳山・福田寺(R3)飯田家墓所	
										1861	文久元年4月6日	先妻文化12年卒/後妻慶応元年卒		
仁保家断			断絶	仁保 左京			100	1						[註4]
温品家			①	温品 東吉		政務局支配	1.8(明治4年)	9				徳山村岡田原		
											(明治5年65歳 分限帳)			
	温品東吉	嫡子	○	温品 際衛門				9						
											(明治5年28歳 分限帳)			
温品家			①	温品 清九郎		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9				栗屋村		
											(明治5年48歳 分限帳)			
	温品清九郎	嫡子	○	温品 作次郎				9						
											(明治5年14歳 分限帳)			
温品家			①	温品 忠之進			1.8(明治4年)	9				栗屋村		
											(明治5年28歳 分限帳)			

温品家	温品良左衛門	長男	○	温品 孫四郎	孫謙 聽水	永代庄屋格/第七小区長		9	77	1817	文化14年9月	栗屋村		[註9][註11]
										1893	明治26年5月	四境戦争軍用金調達掛/堀川運河掘削		
	温品良左衛門	二男	—	温品 謙吉	→小方謙九郎			—						
			—	温品 順				—				栗屋		[註9]
温品家			○	温品 吉郎右衛門		庄屋(享保4年)		3~5				栗屋村		[註4]
												栗屋村御物成御米銀高一紙(享保4年)		
温品家			○	温品 弥兵衛		年寄格	苗字	8				栗屋村		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
温品家			①	温品 茂左衛門				8				栗屋村		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
			②	温品 益次郎			上下着用	8~9				栗屋村		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
温品家			○	温品 和兵衛		町人		8~9						[註1]
												藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		
温品家			○	温品 為造		水産業(明治29年)		—				栗屋村		[註1][註4]
温品家			○	温品 芳之丞		都濃郡第12区戸長 (明治4年住商)		9				徳山町		[註1][註4]
温品家			○	温品 実太郎		都濃郡栗屋村戸長 (明治12年)		9				都濃郡栗屋村		[註4]
温品家			○	温品 暘造		二葉屋・栗屋開作		—						[註8]
												辛苦の上成りしが井上に売り井上開作		
布屋			○	布屋 五郎右衛門		綿実絞油屋		8						[註4]
			○	布屋 次郎兵衛		綿実絞油屋仲間惣代		8						[註4]
沼家断			断絶	沼 文助		徒士	20	不明						[註4]
沼家断			断絶	沼 源助		持弓	15	不明						[註4]
寝田家断			断絶	寝田 徳左衛門			15	1						[註4]
能美屋			○	能美屋 金蔵		酒造業		7				大道理村		[註4]
野上家断	三巻新兵衛弘家		—	野上 弘定	生口孫三郎 景守 弘道知定大居士			元就				生口島居住後野上		
										1588	天正16年2月3日	厳島合戦元就属		[野上氏略系図朝倉直逞]
	野上弘定	嫡子	①	野上 盛長	盛厳義長居士 生口改野上弥右衛門		15	1						
										1629	寛永6年8月4日			[野上氏略系図朝倉直逞]
	野上弥右衛門盛長	嫡子	断絶	野上 六左衛門	弘長 三巻與馬之助 福田寺殿栄岩全富居士	観音寺(後福田寺)開基 寛永元年(1624)請/同2年建立	20(寛永5年)	1				一ノ井手村居住	福田寺(R4)石祠	[註1][註4][防長寺社由来]
										1653	承応2年7月12日妻同	慶長5年三巻改郷士相成/妻心了院殿桃林妙仙大姉		[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	野上六左衛門	長男	—	野上 弘之	→①野上弘之	慶安4年奈古知行	10	1						
										1670	寛文10年3月7日	弘運貫之居士/妻室豊前小倉臣荒川女		[野上氏略系図朝倉直逞]
	野上六左衛門	二男	—	野上 正長	滝小左衛門(多紀小右衛門)南宗庵 多々良 一龍	祐筆		1~3	88			後広島後大阪	大阪葬	
										1702	元禄15年7月17日	鉄砲業/軍術儒学博識/著書『後太平記』『備芸防長記』		[野上氏略系図朝倉直逞]
	野上六左衛門	三男	—	野上 弘俊	意伯 吉介			1						
												兄正長と芸州広島へ		[野上氏略系図朝倉直逞]
野上家 (藤井家)	野上六左衛門	長男	①	野上 弘之	松兵衛 與五郎 五郎右衛門 弘運貫之居士	慶安4年奈古知行	10	1						
										1670	寛文10年3月7日	妻室豊前小倉臣荒川女		[野上氏略系図朝倉直逞]
	野上弘之	嗣子	②	野上 弘直	弥助 改姓藤井 弥天仁和居士			1				須万村楽々谷		
										1644	正保元年6月5日			[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井弘直	嗣子	③	藤井 弘信	六右衛門 碧水中原居士			1~2				須万村楽々谷		
										1681	天和元年10月18日			[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井弘信	嗣子	④	藤井 吉右衛門	海翁中山居士 妻弘之孫国兼茂右衛門女			1~5				須万村楽々谷		
										1724	享保9年4月9日			[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井吉右衛門	嗣子	⑤	藤井 六右衛門	六左衛門	徒士(元文3年)	20	1~5				須万村楽々谷/大藤谷村		
										1744	延享元年12月	延享元年12月17日永暇被仰付		[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井六右衛門	女	—	藤井 某	桂林一枝大姉 阿武晴兼妻/朝倉南陵祖母			3~7	87					
										1773	安永2年7月4日			[野上氏略系図朝倉直逞]
	藤井六右衛門	嗣子	⑥	藤井 仁右衛門				5頃						
														[野上氏略系図朝倉直逞]
野上家			○	野上 長左衛門	休圓信士			~3				今宿村	徳応寺	[朝倉家過去帳]
										1713	正徳3年6月23日			
	野上長左衛門	嗣子	○	野上 市左衛門	春光信士 (娘阿武六左衛門晴俊妻寛政11年卒)	中間組		~5				今宿村	徳応寺	[朝倉家過去帳]
										1756	宝暦6年2月16日			
野上屋			○	野上屋 幸三郎		本宮権現地主		8						
														[防長寺社由来]
野上屋			○	野上屋 吉左衛門		廻船問屋	上下着用	8				徳山町		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		

野崎家			○	野崎 弥兵衛				9頃					福田寺(R3) 野嵜弥兵エ先祖墓戸村馬太朗建立・弓屋家墓所内	[墓碑]
野崎屋			○	野崎屋 久次郎		町人		8~9					福川町 藩へ上納銀、借銀の債主/百姓一揆にて打ち壊される	[註1][註4]
野崎屋			○	野崎屋 利助		町人		8					福川町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)	[註4]
野沢家			○	野沢 一雄		都濃郡湯野村戸長 (明治12年)		9					都濃郡湯野村	[註4]
野田家	徳山村田畑五郎兵衛女		①	野田 記美	太左衛門 富七	辻村農民/蔵本付	15	3~5	67	1755	宝暦5年11月5日		西新町東側自北2番西向 正徳4年出仕	[譜][註4]
	野田記美 譲羽村福永与右衛門女	長男	—	野田 記久	繁右衛門	新知別家/徒士	20	5					享保19年出仕/宝暦7年5月御咎め断絶	[譜]
	野田記美 譲羽村福永与右衛門女	三男	②	野田 記丈	太左衛門 兵左衛門 長右衛門	蔵本付 五ケ村算用役(天明年間)	15	5~7	68	1795	寛政7年10月8日		宝暦5年家督/寛政5年隠居	[譜][註4]
	野田記丈 都濃郡長尾村山本宇兵衛女	長男	—	野田 記包	栄蔵			7						[譜]
	野田記丈 都濃郡長尾村山本宇兵衛女	二男	—	野田 記重	久助 三保助			7					安永3年12月山邊彦左衛門正宣養子	[譜]
	野田記丈 都濃郡長尾村山本宇兵衛女	三男	—	野田 記長	文九郎			7					安永6年12月山邊彦左衛門正宣養子/天明2年離縁	[譜]
	小川儀右衛門佳具 久米村高橋七郎右衛門女	＊二男	③	野田 記貞	綱助 貞具 (妻天保14年11月21日卒/長男早逝)	徒士	20	7~8	55	1822	文政5年3月29日		寛政2年養子同5年家督/文化5年、12年譜録提出	[譜]
	埜(野)田綱助記貞 野田記丈女	二男	—	野田 村之助	→小川晴具			8		1825	文政8年5月16日		文化3年12月13日養子	[譜]
	野田記貞 野田記丈女	三男	④	野田 記方	太左衛門 嘉吉	徒士	20	8	38	1835	天保6年8月2日		文政5年家督	[譜]
	野田記貞 野田記丈女	＊五男	⑤	野田 記精	綱助 平治	蔵本付	15	8~9	46	1847	弘化4年正月29日		天保6年家督	[譜][註4]
	重増松斎好員 富田村戸倉勝蔵女	＊長男	⑥	野田 秀實	藤左衛門 素行 敬次 新介 (妻浅田信貫長女)	蔵本付後下士下等 藩知事時代正権少属	15→4.7(M5)	9			(明治4年43歳 分限帳)		新丁 弘化4年家督/嘉永2年、元治元年譜録提出	[譜][註4]
			⑦	野田 武治	七世野田武治(野田家之墓)			—					徳山・福田寺(R3) 野田家之墓昭和4年7月建立	
野田家			○	野田 祐	(浅田栄次伯父＝野田秀實か)	都濃郡第11区戸長(明治7年) 村会議長/百十銀行徳山重役		9					金融機関公共社を合同出資で設立(明治12年)/明月会会員	[註1]
野田家			○	野田 吉左衛門		徳山浦究役(天保2年)		8						[註4]
野津家断			断絶	野津 庄助		徒士	20	2					貞享年中断絶 [平野家譜録附]	[註4]
			後裔断絶	野津 三吾				7					寛政5年江戸へ欠落	[平野家譜録附]
野津家			○	野津 信直	甚兵衛			1~頃						[亀谷家譜録]
	亀谷忠左衛門之忠 井上某女	＊二男	○	野津 良信	彦右衛門			3頃						[亀谷家譜録]
			○	野津 信暁	甚兵衛 (妻亀谷清之長女)			5頃						[亀谷家譜録]
信沢家			○	信沢 理蔵		山崎隊(報知方)		9						[註4] [山崎隊日記]
信吉家			○	信吉 勤彦		神官/寺小屋		9					須万村 寺小屋読書習字万延元年~明治5年男20女6	[註1] [徳山市教育の歩み]
野間家			①	野間 弥吉			3(明治5年)	9			(明治5年40歳 分限帳)		徳山村橋本町	
		嫡子	○	野間 市三郎				9			(明治5年6歳 分限帳)			
野間家			①	野間 作右衛門		河合組下等	1.8(明治5年)	9			(明治5年50歳 分限帳)		徳山村河原	
		嫡子	○	野間 要吉				9			(明治5年22歳 分限帳)			
野間家			○	野間 作平		村会議員 米改良組合委員(明治20年)		9					米質改良顕著により大阪の米品評会に出品[註1P821]	[註1]
野美家断			断絶	野美[註4] 志摩守	乃美[註1]志摩守 ＊元就継室乃美氏(右田、吉敷毛利祖		300	1					秀就、大阪城石垣普請の件で乃美を呼び寄せ就隆に義絶を申渡	[註1][註4]
乃美家			○	乃美 兵部		三田尻御船手		1					秀就、大阪城石垣用に大津島の石98個の運送を命じる(寛永元年)	[註1]
野村家			○	野村 與三右衛門				1					野上村 慶安元年11月野上邸普請鍬初式奉ず	
	野上又左衛門信成	嗣子	○	野上 信光	甚兵衛			—						[譜]
	野上信光	嗣子	○	野上 義泰	孫左衛門			—						[譜]

野村家	野上義秦 豊前冨木藤三郎紀忠秀女	長男	①	野村 信昌	治右衛門 又左衛門 孫左衛門			1	73	1645	正保2年11月晦日		大迫田徳応寺一族あり 野上改姓野村/元和4年出仕	[譜]
	野村信昌 野上村野村某女	長男	—	野村 甚兵衛				1						[譜]
	野村信昌 野上村野村某女	二男	②	野村 信直	平右衛門			1~3	78	1698	元禄11年12月3日			[譜]
	野村信直 遠石村明石市右衛門女	長男	③	野村 信世	茂右衛門 (妹阿武善之丞晴之妻)			3~5	73	1725	享保10年8月10日			[譜]
	野村信直 遠石村明石市右衛門女	二男	—	野村 喜右衛門		新知別家		3頃						[譜]
	野村信世 磯村半右衛門女	長男	—	野村 吉郎左衛門				3頃				甥野村信良二男某吉郎左衛門養子		[譜]
	野村信世 中山村戸倉某女	二男	④	野村 信良	茂左衛門	町年寄格	三扶持	3~6	70	1761	宝暦11年11月26日	御用金借用断り島流し[註7P408]		[譜][註4][註7][註8]
	野村信世 古志某女	三男	—	野村 惣右衛門	→野村勝行	新知別家		3頃						[譜]
	野村信良 室積中村惣左衛門女	長男	⑤	野村 義厚	茂右衛門 義房	茶道/野村開作	15	5~7	53	1723 1775	享保8年 安永4年8月20日	明和7年～安永元年干潟地干拓(野村開作)竣工安永9年	徳山・徳応寺 [註8]	[譜][註1][註4][註5][註7][註8] [註9][註11][註14]
	野村信良 室積中村惣左衛門女	二男	—	野村 某	伯父野村吉郎左衛門養子			5頃						[譜]
	野村茂右衛門義厚 徳山幸町重岡市右衛門女	長男	⑥	野村 信厚	辨右衛門 亀之丞	茶道	15	6~7	51	1794	寛政6年8月21日	安永4年家督/父の命で熊本にて数理を学ぶ		[譜][註4][註8][註9][註11]
	野村茂右衛門義厚 徳山町重屋市右衛門女	二男	—	野村 正章	→楢崎正章	中小姓	25	6~7	46	1796	寛政8年10月8日	西町下横町南側自東1番 宝暦13年養子/明和3年9月家督/7回結婚	江戸にて死去	[譜]
	野村茂右衛門義厚 徳山町重屋市右衛門女	三男	—	野村 傳蔵	(萩領平田村田中文左衛門養子)			宗藩				明和6年2月16日萩領平田村農民田中文左衛門養子		[譜]
	野村茂右衛門義厚 徳山町重屋市右衛門女	四男	—	野村 傳次	(萩家来村田武右衛門文喬養子)			宗藩				天明8年5月6日萩家来村田武右衛門文喬養子		[譜]
	野村茂右衛門義厚 徳山町重屋市右衛門女	五男	—	野村 三蔵	(萩領平田村田中三郎右衛門育)			宗藩				安永8年2月26日萩領平田村農民田中三郎右衛門育		[譜]
	野村茂右衛門義厚 徳山町重屋市右衛門女	六男	—	野村 亥代之丞	(東條小十郎養子後田中與一左衛門育 後天保5年引取)			宗藩				天明6年柳井村東條家養子後寛政4年末武村農民田中家育		[譜]
	野村信厚 棟居又右衛門景丈妹	長男	⑦	野村 登春	平兵衛 連信 松之丞 大手 翠巌 公羽仙 芦川 大年	中小姓/俳人 用達商人/素封家[註1]	37	7~9		1844	天保15年	徳山・鳥井町[註1] 寛政6年家督/7代就馴公エピソード[註9]献納賞美[註4]	句碑遠石[註9]	[譜][註1][註4][註8][註9] [註11]書写『旧記抜書』
	野村信厚 棟居又右衛門景丈妹	二男	—	野村 暁正	→楢崎暁正	中小姓	25	7~8				寛政6年楢崎小文治正章養子/享和3年退身		[譜]
	野村信厚 棟居幸左衛門景通女	三男	—	野村 剰致	→堀田剰致	中小姓	25	8~9				文政元年10月23日堀田惣助正格跡家督		[譜]
	堀田市兵剰致 本城九郎左衛門女信	＊二男	⑧	野村 義寛	十郎左衛門 正之助 信順 美和衛門 義敬 雲僊 雲仙	馬廻	75→25	8~9	63	(明治4年47歳 分限帳) 1887	明治20年2月18日	天保3年養子同15年家督/嘉永2、5年、明治3年譜録提出	大迫田徳応寺(R4)	[譜][註4][註8]
	野村義寛 宮市兄部盤右衛門佳近女	長男	⑨	野村 津渡馬	茂馬 慎一(近代防長人物誌)		7.1(明治5年)	9	51	(明治4年26歳 分限帳) 1896	明治29年11月24日	明治7年5月養子弟恒造家督(近代防長人物誌)	大成寺共同墓地(H30)	[譜] [近代防長人物誌]
	野村義寛 宮市兄部盤右衛門佳近女	二男	⑩	野村 義春 ☆	瀧江 主計(士井屋新蔵後裔[註9]) 恒次郎 恒造(妻朝子)	献功隊/徳山村会議員村町長 米改良組合頭取/国会議員	従六位勲四等	9	71	1850 1920	嘉永3年9月17日 大正9年1月4日	徳山村小沢・徳山町下御弓 周防組運輸合資会社社長/海軍練炭製造所誘致/市役所に胸像	大成寺共同墓地(H30)	[註1][註4][註5][註9][註11][註14] [近代防長人物誌]
	野村義寛	三男	—	野村 虎之助				9		(明治4年8歳 分限帳)				
	野村義寛	四男	—	野村 筧四郎				—		(明治4年3歳 分限帳)				
	野村義寛	嫡子	—	野村 筌三	野村恒造弟[近代防長人物誌] 医学博士堀田筌三	東京帝大/医学博士		—				広島市大手町堀田眼科 明治26年第一高等中学校卒		[近代防長人物誌]
	野村義寛	嫡子	—	野村 華造	野村恒造弟[近代防長人物誌]	東京帝大/医師		—		1878	明治11年7月16日	東京市日本橋区伊勢町13 日本橋中央病院(明治40年)[徳友]		[近代防長人物誌]
野村家断	野村信世 古志某女	三男	①	野村 勝行	惣右衛門 衛行	持弓	15	3						[長沼家譜録] [野村家譜録]
	野村勝行 某女	長男	—	野村 常庵	道恕 断絶→長沼常庵			3~5						[長沼家譜録]
	須万村鶴岡四郎兵衛貞陳 佐久間清左衛門女	＊二男	②	野村 貞真	忠右衛門 断絶→長沼貞真	徒士	20	3~5				元禄6年養子/享保8年長沼改姓		[長沼家譜録]
野村家			○	野村 七郎左衛門	屋号ともや 二代目七郎左衛門	身柄一代町老格	苗字(寛延元年)	5				徳山本町 寛政2年本家茂左衛門連名の証文あり[註4P523]	大迫田徳応寺(R4)	[註4][註14]
			○	野村 茂七郎	屋号ともや	永々長老格	切米6(宝暦2年)	6				徳山本町		[註4]
			○	野村 丈右衛門	屋号ともや			8				徳山本町 献納並び御賞美(享保～文化年間記載)		[註4] [御領町人御仕成]
	重岡智丈 福川商民原田金助姉	＊三男	○	野村 伊兵衛				8				文政8年11月野村丈右衛門養子		[重岡家譜録]
			①	野村 常友	喜斎	陣僧	11	3~5	70余	1757	宝暦7年正月17日	西新町東側自上8番西向 某年出仕		[譜][註4]
	野村喜斎常友 某女	長男	—	野村 常重	→①野村常重	新知別家/陣僧	11	5	26	1750	寛延3年11月8日	西新町東側自北11番西向 元文5年出仕		[譜]

野村家	野村喜斎常友 某女	二男	一	野村 常政	→②野村常政	徒士	20	5~8	64	1799	寛政11年4月26日	寛延3年兄常重跡家督		[譜]
	久米村半兵衛 山口某女	＊嫡子	②	野村 常定	清古 清助	陣僧	11	5~8				宝暦7年家督/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	野村常定 徳山西町又右衛門女	長男	③	野村 常安	閑清 清蔵	陣僧	11	8	54	1821	文政4年12月25日	文化15年4月家督		[譜]
	野村清吉常貞 徳山村福谷治右衛門女	四男	一	野村 一清	→松原一清	蔵本付	15二扶持	8~9		1867	慶応3年10月晦日	文政6年松原久右衛門一信養子/天保2年家督	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] (嘉永2年譜録提出)
	野村常安 大安寺養女	長男	一	野村 常信	豊作	江戸留守番手	11	8~9	20	1839	天保10年9月26日	文政6年10月嫡子願		[譜]
	野村常定 徳山村福谷治右衛門女	＊三男	④	野村 常富	玄勝 権三郎	陣僧	11	8~9				文政5年家督/嘉永2年譜録提出		[譜]
	野村常富 井本丹左衛門由景女	長男	⑤	野村 常政	啓甫(輔)	陣僧後下士下等	11→4.7(M5)	9		(明治4年46歳 分限帳)		嘉永4年10月家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	野村常政	嫡子	○	野村 茂太郎				—		(明治4年4歳 分限帳)				
野村家	野村喜斎常友 某女	長男	①	野村 常重	宗仙	陣僧	11	5	26	1750	寛延3年11月8日	西新町東側自北11番西向 元文5年出仕		[譜]
	野村喜斎常友 某女	＊二男	②	野村 常政	勇助 甚兵衛 閑清 俊明	徒士	20	5~8	64	1799	寛政11年4月26日	寛延3年家督		[譜]
	野村常政 徳山村山縣友右衛門女	長男	③	野村 正勝	源之助 勇之丞 儀助	徒士 下代役/算用役(文政3年)	20	8	55	1830	天保元年6月20日	寛政10年家督/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	野村常政 農民山縣友右衛門女	二男	一	野村 方尚	→渡邉方尚	徒士	20	8~9	77	1862	文久2年11月17日	文化3年渡邉源蔵保孝家督/安政5年隠居		[譜] (嘉永2、5年譜録提出)
	野村正勝 原田紋左衛門直道女	長男	④	野村 常應	貞右衛門 勇治 忠右衛門 常直	徒士/下役	20	8~9				天保元年家督/殉難七士調役		[譜][註4] (嘉永2年、元治元年譜録提出)
	野村正勝 原田紋左衛門直道女	二男	一	野村 敬直	杢之丞 萩中嶋市郎右衛門周庸養子			宗藩				天保11年2月萩清水信濃家来中嶋市郎右衛門周庸養子		[譜]
	野村正勝 原田紋左衛門直道女	三男	一	野村 實巌	亥之助	無量寺弟子		9				天保8年5月18日無量寺弟子		[譜]
	野村正勝 原田紋左衛門直道女	四男	一	野村 常矩	傳之進 萩高橋韶之進知彰養子			宗藩				嘉永元年2月20日萩家来高橋韶之進養子		[譜]
	野村常應 引頭清七有常女	二男	⑤	野村 常章 ☆	蔵太 荘二郎	徒士後下士上等	20→5.7(M5)	9		(明治4年25歳 分限帳)		新丁 明治3年譜録提出		[譜][註4]
	野村常應	嫡子	一	野村 常文 ☆	武吉 野村常章弟			9		(明治4年20歳 分限帳)				
野村家	花岡村某女		①	野村 從種	弥三右衛門 林内	徒士	20	5~7	96	1785	天明5年2月28日	西新町西側自北13番 奉公以前御家微賤召仕/享保12年出仕/安永2年隠居		[譜][註4]
	野村從種 商民梅田□兵衛女	長男	一	野村 佐渡都				5~7						
	野村佐渡都 徳山村君崎弥兵衛女	＊二男	②	野村 政從	左助 十蔵	徒士	20	7	24	1779	安永8年4月29日	安永2年家督		[譜]
	野村佐渡都 徳山村君崎弥兵衛女	＊四男	③	野村 直温	忠助 助右衛門	徒士/下代役(文政元年)	20	7~8	64	1831	天保2年11月18日	安永8年家督/文化5年、12年譜録提出		[譜][註4]
	野村直温	長男	一	野村 政直	莞爾 雄吉	御雇		8				文政6年直温江戸番手之節見習御雇		[譜]
	野村助右衛門直温 後妻渡邉市郎左衛門武女	二男	一	野村 知直	→戸村知直	陣僧	11	8~9	42	1858	安政5年12月26日	文政12年2月15日戸村清甫信正養子/天保7年家督		[譜]
	戸倉猪八正為 竹下玄達女	＊二男	④	野村 虎	又蔵	蔵本付	15	8~9	38	1840	天保11年2月29日	天保3年野村直温跡家督		[譜]
	君崎某 某女	＊	⑤	野村 宗貴	敬之 善兵衛 清内	蔵本付後下士下等	15	9		(明治4年56歳 分限帳)		新丁 杉山紀佐之助家来君崎善兵衛天保13年虎跡家督		[譜][註4] (嘉永2年、明治3年譜録提出)
	野村宗貴 小林甚左衛門苗恵養女	長男	⑥	野村 宗正	孝一郎	藩知事時代史生	4.7(明治5年)	9		(明治4年29歳 分限帳)				[譜]
野村家	野村甚左衛門利直 下松西市浅原屋藤七女	長男	①	野村 利政	仁兵衛	細工人/檜皮	13二扶持	5~7	72	1769	明和6年12月10日	寛延元年12月出仕/明和4年隠居		[譜]
	野村利政 徳山町某女	長男	②	野村 利信	藤右衛門 久左衛門	細工人/檜皮	13二扶持	7	48	1779	安永8年8月19日	明和4年家督		[譜]
	野村利信 徳山町川崎屋五兵衛妹	長男	③	野村 信近	仁右衛門	細工人/檜皮	13二扶持	7	26	1780	安永9年4月19日	安永8年家督		[譜]
	水上村某 水上村某女	＊二男	④	野村 利則	要助	細工人/檜皮	13二扶持	7				安永10年7月家督		[譜]
	夜市村忠右衛門 戸田村勘七女	＊長男	⑤	野村 利近	甚蔵	細工人/檜皮	13二扶持	7~8	57	1809	文化6年11月25日	天明元年7月28日家督/文化5年譜録提出		[譜]
	大島村藤井孫右衛門 栗屋村山本紋左衛門女	＊二男	⑥	野村 利道	利左衛門 吉郎左衛門	細工人/檜皮	13二扶持	8~9	65	1845	弘化2年7月25日	文化7年家督/文化12年譜録提出		[譜][註4]
	野村利道 野村利近女	長男	一	野村 利吉				宗藩				弘化元年2月朔日萩藤村正兵衛養子		[譜]
	野村利道 野村利近女	二男	⑦	野村 道信	良蔵	細工人/檜皮	13二扶持	9				新丁 嘉永2年、文久4年譜録提出		[譜][註4]

	野村道信 福谷宇兵衛姉	長男	○	野村 道三郎				9					[譜]
	野村道信 福谷宇兵衛姉	二男	一	野村 安次郎				9					[譜]
			一	野村 堅司	□治 鋒？(M5分限帳)	営作舎支配準士 献功隊	13二扶持 →4.7(M5)	9		(明治4年23歳 分限帳)			[註4] [山崎隊日記]
野村家			○	野村 葆		藩士/和漢書私塾倹養堂		9			徳山村 寺小屋倹養堂明治2年～5年(男20名)		[註1][註5][註9][註14]
野村家			①	野村 安右衛門		河合組上等	4.7(明治5年)	9		(明治4年49歳 分限帳)			
	野村安右衛門	嫡子	②	野村 四郎右衛門		岩崎幾太郎上等(M3)		9		(明治4年23歳 分限帳)			
野村家			①	野村 栄七		河合組上等	4.7(明治5年)	9		(明治5年30歳 分限帳)	徳山村順庵丁 豊原衛士家来元治元年江戸藩邸没収幽囚[註16]		[註16]
野村家			①	野村 安左衛門		政務局支配		9		(明治4年63歳 分限帳)			
	野村安左衛門	嗣子	②	野村 陳兵衛		河合組上等	4.7(明治5年)	9		(明治4年29歳 分限帳)			
野村家			①	野村 又七			4.36(明治5年)	9		(明治5年25歳 分限帳)	徳山村小沢町		
野村家			①	野村 嘉作		河合組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年23歳 分限帳)	徳山村今宿		
野村家			①	野村 多一			3.35(明治5年)	9		(明治5年23歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
野村家			①	野村 喜次郎		厩組	3.35(明治5年)	9		(明治5年36歳 分限帳)	徳山村一ノ井手		
			一	野村 多作	喜次郎弟			9		(明治3年23歳 分限帳)			
野村家			①	野村 多喜蔵			3.35(明治5年)	9		(明治5年24歳 分限帳)	徳山村代々小路		
野村家			①	野村 梅太郎			1.8(明治5年)	9		(明治5年24歳 分限帳)	徳山村舞車		
野村家			①	野村 覚兵衛		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年48歳 分限帳)	徳山村代々小路		
	野村覚兵衛	嫡子	○	野村 栄吉	信次郎			9		(明治5年19歳 分限帳)			
	野村覚兵衛	嫡子	一	野村 虎吉				9		(明治3年6歳 分限帳)			
野村家			①	野村 金蔵		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年73歳 分限帳)	徳山村順庵丁		
	野村金蔵	嫡子	○	野村 金次郎				9		(明治5年10歳 分限帳)			
野村家			①	野村 宇兵衛		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年60歳 分限帳)	徳山村辻		
	野村宇兵衛	嫡子	○	野村 儀助		町会議員(明治33年) 都濃郡輸出米検査所検査員		9		(明治5年17歳 分限帳)	徳山町		[註1][註4]
野村家			①	野村 祐左衛門		政務局支配	1.8(明治5年)	9		(明治5年53歳 分限帳)	徳山村今宿		
	野村祐左衛門	嫡子	○	野村 源三郎				9		(明治5年6歳 分限帳)			
野村家			①	野村 政右衛門		政務局支配		9		(明治3年53歳 人員録)			
	野村政右衛門	嫡子	○	野村 惣吉				9		(明治3年18歳 人員録)			
	野村政右衛門	二男	一	野村 保次郎				9		(明治3年9歳 人員録)			
	野村政右衛門	三男	一	野村 百合熊				9		(明治3年5歳 人員録)			
野村家			○	野村 金右衛門	玄観知光信士			8		1805 文化2年8月16日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
野村家			○	野村 幸右衛門		酒造業		7			徳山村		[註4]
野村家			○	野村 友輔		初代村会議員 福川村他戸長(明治17年)		9					[註1][註4]
野村家			○	野村 与吉		米改良組合委員(明治20年)		9					[註1]
野村家			○	野村 治作	永光院延應道智居士	米改良組合委員(明治20年)		9				興元寺隠居山(R3) 妻戒光院貞相妙圓大姉大正9年9月6日没	[註1]
野村家			○	野村 房右衛門		徳山村山惣代人(明治13年) 米改良組合委員(明治20年)		9			山野官民有未定地調査(明治13年)土地取調帳(明治21年)		[註1][註4]

野村家			○	野村 喜左衛門				3				橋本町 改易時、十時の密告により畳屋新平らと捕縛される		[註1]
野村家			○	野村 儀右衛門		町人/預札窮方兼手代	苗字/上下 年寄格	8				徳山本町 文政6年(1823)預札窮方兼手代		[註1][註4][註14]
野村家			○	野村 栄之輔		櫛ケ浜魚市場開設		9				明治8年(1875)櫛ケ浜字浜中に開設、12年浜田氏に譲渡		[註4][註14]
野本家			○	野本 利助		町人		8~9				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]

徳山藩家臣&徳山藩を支えた人たちとその一族

各家はアイウエオ順。
徳山藩家臣以外にも徳山藩に関わりがある人々、また、その子孫等姻族を記載している。
「続柄」は「嫡子」「嫡男」は実子。「嗣子」は家督を継いだ者であるが、実父母、養子、続柄等が不明な場合に記した。養子の場合、続柄に＊と記入し、実父母を記入した。
「嫡子」「嫡男」は実子の意味であるが、『士族人員録(人員録)』、『旧士族分限帳(分限帳)』による場合はこれに限らない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』による続柄は、実子、養子、嫡子省略(例・長男が早逝すれば二男を長男にする)等、必ずしも正確ではない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』、『徳山医師会史』による家督順は、出自が不明の為、便宜上①、②…と記している。
「退身」「中継」「断絶」「永暇」は中には同意味の場合もあるが原則、各家譜録の記載に従った。
「順」の項の○数字は徳山藩士として家督を継いだ順(藩に提出)で、必ずしも一族の家督順ではない。
「姓名」の名前の後の☆印は慶応元年～4年『徳山藩有志血盟書』に血判した藩士である。総勢230名(変名、養子等により重複あり)。
「字・幼名・号他」の項の→は養子で別の項に説明がある場合に記した。逆の場合は→は記してない。その場合は実父から旧名で検索してほしいが、藩士以外は不明の場合が多い。
「字・幼名・号他」の項の→は養子以外に変名、改名等でも別の項に記した。
「断絶」とは様々な理由で藩士ではなくなったことをさし、必ずしも一族が途絶えたことではない。また「再興」は主に藩士に再度召し抱えられたことである。
「給禄」の洋数字は石数、漢数字はその他の禄である。また、位階等叙勲も記している場合がある。
「藩主」の数字は仕えた藩主の歴代数である。但し、生没年により境目は不明瞭な部分がある。
「享年」年令は主に毛利家譜録記載に拠る為、数え年にて記載した。
「生、没年月日」確認の為、年令から逆算して記した場合がある。西暦は単純に和暦に合わせている。(旧暦はずれがあり西暦が違う場合がある)和暦は原則、改元の月日を基準にしている。
「生、没年月日」の項に、分限帳等で年齢が記してある場合()で当時の年令を記した。
「墓地」の項の()は墓碑の最新確認年度である。
各家譜録の記載に明らかな間違いや、当時の提出者により差異があった場合、当方の判断により訂正した。
□は不明文字。
記入事項が多い場合は、必ずしも決められた項目に記していない。
一部御存命の方を記載しているが、承諾を得たものである。

出典
［譜］『徳山毛利家譜録』を基本に下記資料から追補
［註1］『徳山市史 上』 徳山市史編纂委員会　昭和59年1月31日発行
［註2］『徳山市史 下』 徳山市史編纂委員会　昭和60年3月30日発行
［註3］『徳山市史史料 上』 徳山市史編纂委員会　昭和39年11月30日発行
［註4］『徳山市史史料 中』 徳山市史編纂委員会　昭和41年3月3日発行
［註5］『徳山市史史料 下』 徳山市史編纂委員会　昭和43年3月20日発行
［註6］『下松市史 通史編』 下松市史編纂委員会　平成元年11月3日発行
［註7］『新南陽市史』 新南陽市史編纂委員会　昭和60年11月1日発行
［註8］『徳山名士墳墓掃苔録』 兼崎茂樹著　大正8年6月発行
［註9］『徳山の文化に貢献せし人々』 梅原芳堂著　昭和40年3月1日発行
［註10］『防長人物百年史』 末弘錦江　昭和42年1月1日再版発行
［註11］『増補 近世防長人名辞典』 吉田祥朔　昭和51年6月1日発行
［註12］『近代防長人物史 天地人』 井関九郎著　大正6年12月25日発行
［註13］『徳山医師会史』
［註14］『徳山市史年表』 徳山市史編纂委員会　昭和44年12月25日発行
［註15］『増補 防長人物誌』 近藤清石　昭和59年6月25日発行
［註16］『橙堂遺稿補遺』 兼崎茂樹著　大正6年8月15日発行
『都濃郡誌 全』 山口県都濃郡役所　大正13年5月25日発行
上士其他人員録　明治3年
士族人員録　中士第一～第四　明治3年
士族人員録　下士第一～第三　及び在職中　明治3年
準士人員録　附上士家来　明治3年
士族人員録　御船手組　明治3年
士族人員録　河合組上等及び下等　明治3年
士族人員録　岩崎幾太郎組上等及び下等　明治3年
士族人員録　卒族外、御手廻組、御厩組及び、政務局支配　明治3年
旧徳山士族分限帳　明治4年、5年
各家家譜及び徳山毛利家各種文書(山口県文書館蔵)
その他、参考した文献は『 』[ ]＊で記した。